布

職

員  $\mathcal{O}$ 

勤

務

時

間、

休

日、

休 暇

等 に

関

す

る

条 例 施 行

規 則

 $\bigcirc$ 

部

を 改

正 す る 規 則 を 公

す る。

和 年 七 月 一

令

七

日

東 京 都 北 区 長

田 加

Щ

奈 子

東京都北区規則第五十号

職 員  $\mathcal{O}$ 職 員 勤 務  $\mathcal{O}$ 時 勤 間 務 時 休 間 日 休 休 日 暇 等 休 に 暇 関 等 す に 関 る す 条 例 る 条 施 例 行 規 施 則 行 規  $\overline{\phantom{a}}$ 平 則 成  $\mathcal{O}$ + 年 部 三 を 改 月 東 正 京 す 都 る 北 規 区 則

規 則 第 九 뭉  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る 0

第 + 三 条 第 兀 項 第 号 中 \_ 及 び 第 + 六 条 \_ を 第 + 六 条 及 U 第 + 六 条  $\mathcal{O}$ 三

に

改  $\Diamond$ 同 項 中 第 八 号 を 第 九 号 لح L 第 七 号 を 第 八 号 لح 第 六 뭉  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ <del>---</del> 号 を

加える。

七 育 児 休 業 法 第 + 九 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 部 分 休 業 を 承 認 さ れ 7 勤 務 L な カン

た 期 間

第 + 三 条  $\mathcal{O}$ 五. 第 六 項 中  $\neg$ 地 方 公 務 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 に 関 す る 法 律 平 成 三 年 法 律 第

+ 号 0 以 下 \_ 育 児 休 業 法  $\sqsubseteq$ と 1 う 0  $\overline{\phantom{a}}$ \_ を 育 児 休 業 法 に 改  $\Diamond$ る

第 + 五 条 第 + 項 中  $\neg$ 正 規  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間  $\mathcal{O}$ 始  $\Diamond$ 又 は 終 わ ŋ に お 11 7 \_ 及 75 た

だ

し書を削る。

百

第  $\equiv$ 第 項 中 + 五. 条  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 項 及 第 び 次 項 条 中 第  $\equiv$ 項 正 に 規  $\mathcal{O}$ お 1 勤 務 て 時  $\neg$ 育 間 児  $\mathcal{O}$ 部 始 分  $\Diamond$ 休 又 業 は 終 わ を り に \_ 第 \_\_ を 号 削 部 n 分 休 同 業 条

分 に 休 業  $\neg$ \_ 次 に 条 第 三 次 項 条 に 第 お  $\equiv$ 11 項 7 12 お 高 齢 11 者 7 部 育 分 児 休 業 時 間 を を \_ 次 次 条 条 第 第 六 六 項 項 に に お お 11 11 7 7 高  $\neg$ 育 齢 児 者 時 部

間 に 条 例 第 + 六 条  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 第 \_\_ 項 を 次 条 第 五. 項  $\sqsubseteq$ に  $\neg$ 子 育 て 部 分 休 暇

以

0

下 育 児  $\mathcal{O}$ 部 項 分 に 休 お 業 1 て 高 \_ 子 齢 者 育 部 7 分 部 休 分 業 休 暇 育 児 لح 時 1 間 う 又 又 は \_ 子 は 当 育 を 該 7 第 第 部 分 <del>---</del> 号 号 休 子 暇 子 育 育 を 7 部 部 分 当 分 該 休 第 暇 \_ 号 に に

改 部 8 分 休 る 0 業 当 該 高 齢 者 部 分 休 業 当 該 育 児 時 間 て 休 暇

2 井 第 内 日 子 育 十 で ま 当 で 7 五 条 該  $\mathcal{O}$ 部 期 期 分  $\mathcal{O}$ 間 間 休 三 に 暇 第 お لح  $\mathcal{O}$ け 12 申 項 る 請 カコ 子 あ を 5 育 5 L 第 兀 7 カン ょ 部 U う 項 分 と ま  $\Diamond$ 休 す で 暇 る を 次 職 次 を  $\mathcal{O}$ 申 各 員  $\mathcal{O}$ 号 請 は ょ う に す る 掲 毎 に げ カン 年 改 を る 兀  $\Diamond$ 任 範 月 る 用 命 権 内 日 者  $\mathcal{O}$ か に う 5 申 꽿 5 L 11 年 三 出 ず る n 月  $\equiv$ ŧ)  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 範 +

年 日 に に 0 0 き き 七 + 時 七 間 時 を 間 超 三 え 十 な 分 1 を 範 超 井 え 内 な 1 範

用

内

لح

す

る

3

4

第

項

申

出

を

L

た

職

員

は

当

該

申

出

を

L

た

範

进

内

第

三

項

変

更

を

L

た

場

合

12

あ

る

等 が 時 生 12 が 以 前 ľ 下 負 項 予 傷 る  $\mathcal{O}$ 測 لح 第 又 規 す 任  $\equiv$ は 定 る ک 疾 に 命 項 権 変 病 ょ لح 者 更 に る が が ょ 申 で 認 り 出 と き  $\Diamond$ 1 入  $\overline{\phantom{a}}$ な る う 院 以 カン 場 下 L 0 合 た た ر ح に を 第 事 限 と L 実 項 ŋ な が ` け 配 申 生 当 n 偶 出 ľ 者 該 ば た 等 申 当 لح ک لح 出 該 1 と 別  $\mathcal{O}$ 職 う に 居 員 内 ょ 容 L  $\mathcal{O}$ り た を 子 を 当 ک 変  $\mathcal{O}$ L 該 لح 更 養 た 申 そ す 育 職 出 12 員 る  $\mathcal{O}$ ح 内 著 他 は 容 当 と L が 11  $\mathcal{O}$ 該 配 で 支 変 申 偶 き 障 更 出 者

0 7 は そ  $\mathcal{O}$ 変 更 後  $\mathcal{O}$ 範 用 内 に お 7 7 子 育 7 部 分 休 暇 を 申 請 す る と が で き

る

第 十 五 条  $\mathcal{O}$ 三 中 第 九 項 を 第 十 六 項 لح L 同 条 第 八 項 第 号 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 8 る

職 員 が 第 三 項 変 更 を L た لح き

第 十 五. 条  $\mathcal{O}$ 三 第 八 項 第 三 号 を 削 n 同 項 を 同 条 第 + 五. 項 と L 同 条 中 第 七 項 を

+ 兀 項 لح L 第 六 項 を 第 + 項 と L 同 項  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ <del>---</del> 項 を 加 え る

第

13 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 12 か カン わ 5 ず 任 命 権 者 は 次 に 撂 げ る 場 合 に あ 0 て は 子 育 7

分 休 暇 に 0 部 1 分 7 休 業 承 に 認 係 す る ک لح が で き な 1  $\mathcal{O}$ 変

る

申

出

申

出

内

容

更

に

ょ

る

場

合

を

含

む

0

を

L

7

1

部

第

号

る 職 員 に 9 1 7 ` 第 号 子 育 て 部 分 休 暇  $\mathcal{O}$ 申 請 が あ 9 た 場 合 0

る 職 第 員 \_ に 号 部 0 分 1 休 7 業 第 に 係 号 る 子 申 育 出 7 部 申 分 出 休 内 暇 容  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 変 申 更 請 が に ょ あ る 9 た 場 場 合 合 を 含 む を L て 1

U 第 + 三 五 条 項 変  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 更 は 第 五 項 に 中 改  $\neg$  $\Diamond$ は  $\sum_{}$ 同 れ 項 た を だ 利 L 用 す 書 る 中 日  $\neg$ 子  $\mathcal{O}$ 育 前 7 H ま 部 で 分 休 に  $\sqsubseteq$ 暇 を を 利 用

出

及

\_

第

条 前 第 日 + ま 項 で لح に 子 L 育 同 7 項 部  $\mathcal{O}$ 分 次 休 に 暇 次 承  $\mathcal{O}$ 認 申 項 請 を 書 \_ 加 え を る \_ 子 育 7 部 分 休 暇 簿 に 改 8 同 項 を

1 1 第 子 育 + 五 7 条 部 分  $\mathcal{O}$ 三 休 第 暇 兀  $\mathcal{O}$ 項 申  $\mathcal{O}$ 請 次 は 12  $\sum_{i}$ 次  $\mathcal{O}$ n 五. を 項 利 を 用 す 加 え る る 日  $\mathcal{O}$ 前 日 ま で 12 行 う ŧ  $\mathcal{O}$ 

لح

す

る

す

る

日

 $\mathcal{O}$ 

同

第

項

申

6 5 部 定 に 第 第 分 ょ <del>---</del> 休 る 号 暇 項 第 介 部 護 分 لح 号 時 休 11 間 業 う に 撂 以 げ 高 下 齢 る  $\mathcal{O}$  $\sum_{}$ 者 承 範  $\mathcal{O}$ 部 認 用 内 項 は 分 12 で 休 業 三 申 お 1 + 請 分 す 7 育 児 を る \_ 介 時 単 子 育 護 間 位 لح 時 7 又 間 は 部 L 条 7 分 例 行 休 と 第 う 暇 1 う + t 六  $\mathcal{O}$ 以 条 と 下  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ す 承 る 第 認 第 を 号 受 項 子 育

7

時 時 勤 間 間 務  $\mathcal{O}$ カン L 承 5 な 当 認 1 を 該 職 受 第 員 け に \_ 7 号 対 勤 部 す 務 分 る L 休 第 な 業 1 号 時 当 子 間 該 育 を 高 7 齢 部 減 じ 者 分 た 部 休 時 分 暇 間 休  $\mathcal{O}$ を 業 承 超 認 え 当 に な 該 0 1 育 1 児 範 7 拼 時 は 間 内 で 又 行 は 日 当 う に 該 ŧ 9  $\mathcal{O}$ 介 き け  $\mathcal{O}$ と 護 7 規

7 休 次 部 暇  $\mathcal{O}$ 分 第 各 を 休 号 承 暇 項 に  $\sqsubseteq$ 認 第 す 掲 لح げ 号 る 11 る う 12 場 掲 لح が 合 げ で に る  $\mathcal{O}$ き あ 承 範 る 0 認 用 内 7 は で は 申 当 時 請 該 間 す 各 を る 号 単 子 に 位 育 لح 定 て 8 L 部 7 る 分 時 行 休 間 う 暇 数 ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 以 第 と 下 す 号 る 第 0 子 育 号 た 7 だ 子 部 L 育

す

る

当 て 該 第 残 当 口 時 号 該  $\mathcal{O}$ 間 子 勤 勤 数 育 務 務  $\mathcal{O}$ 7 時 に 全 部 間 係 7 分  $\mathcal{O}$ る に 休 全 日 0 暇 7 11  $\mathcal{O}$ に لح 残  $\mathcal{O}$ 7 0 申 時 勤 11 請 間 務 7 が 数 申 時 に 間 あ 請 が に 0 た 時 分 あ と 間 を 0 き た 単 未 満 لح 位 当  $\mathcal{O}$ き لح 該 端 L 当 残 数 た 時 が 該 時 間 間 あ 勤 数 る 務 が 場 時 あ 合 間 る で  $\mathcal{O}$ 場 時 合 あ 間 で 0 7 数 あ 0

職 第 員  $\mathcal{O}$ 育 号 児 部 分 休 休 業 等 業 に لح 関 1 す う る 0 条 例 第  $\mathcal{O}$ 承 + 認 五 を 条 受  $\mathcal{O}$ け 第 7 勤 務 項 L  $\mathcal{O}$ な 規 1 定 時 に 間 ょ が る あ 部 る 分 職 休 員 業 に

以

対

8

下

7

分

当 す 該 る 第 第 号 号 子 部 育 分 休 7 業 部 分  $\mathcal{O}$ 承 休 認 暇 を  $\mathcal{O}$ 受 承 認 け 7 12 勤 0 務 1 L て な は 11 第 時 間 を 項 第 減 U た 号 に 時 掲 間 げ を 超 る え 時 な 間 カン 11

範

井

5

内 で 行 う ŧ  $\mathcal{O}$ لح す る 0

9

任 命 権 者 は 子 育 7 部 分 休 暇 に 0 1 て 次  $\mathcal{O}$ 各 号 に 掲 げ る 場 合 に あ 0 7 は 当

該 各 号 に 係 る 証 明 書 等  $\mathcal{O}$ 提 出 を 求  $\Diamond$ る ک لح が で き る

養 育 を 必 要 لح す る 事 由 を 確 認 す る 必 要 が あ る لح 認  $\Diamond$ る 場

第 項 申 出 時 に 予 測 す る  $\sum_{}$ と が で き な カン 0 た 事 実 が 生 U た ک と に ょ ŋ 第 三

否 か を 判 断 す る た  $\Diamond$ 必 要 が あ る لح 認  $\Diamond$ る 場 合

十 五 条  $\mathcal{O}$ 七  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 見 出 L 及 U 七 条 を 加 え る

第

変

更

を

L

な

け

れ

ば

当

該

子

育

て

部

分

休

暇

に

係

る

子

 $\mathcal{O}$ 

養

育

に

著

L

11

支

障

が

生

U

る

カン

項

合

妊 娠 出 産 等 に 9 1 て  $\mathcal{O}$ 申 出 を L た 職 員 に 対 す る 意 向 確 認 等

0

措 置 以 下  $\neg$ 出 生 時 両 立 支 援 制 度 等 لح 1 う は 次 12 掲 げ る 制 度 又 は 措 置

と す る

第

+

五.

条

 $\mathcal{O}$ 

八

条

例

第

十

六

条

 $\mathcal{O}$ 

六

第

項

第

号

 $\mathcal{O}$ 

東

京

都

北

区

規

則

で

定

8

る

制

度

又

は

育 児 短 時 間 勤 務

三 育 条 例 児 第 休 九 業 条 法  $\mathcal{O}$ 第 + 第 九 条 項 第  $\mathcal{O}$ 規 項 定 に 12 規 ょ 定

す

る

部

分

休

業

る

深

夜

勤

務

 $\mathcal{O}$ 

制

限

条 例 第 九 条  $\mathcal{O}$ 三 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 12 ょ る 超 過 勤 務  $\mathcal{O}$ 免 除

兀

五 条 例 第 九 条  $\mathcal{O}$ 兀 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 超 過 勤 務  $\mathcal{O}$ 制 限

六 条 例 第 + 五 条 第 項 に 規 定 す る 育 児 時 間

条 例 第 + 五 条 第 項 に 規 定 す る 出 産 支 援 休 暇

八七 条 例 第 + 五. 条 第 項 に 規 定 す る 子  $\mathcal{O}$ 看 護 等 休 暇

九 条 定 休 暇

例

第

+

六

条

 $\mathcal{O}$ 

三

に

規

す

る

子

育

7

部

分

+ 時 五. 間 第 五  $\mathcal{O}$ 条 短 九 縮  $\mathcal{O}$ 第 項 第 <del>---</del> 号 に 掲 げ る 場 合  $\mathcal{O}$ 条 例 第 六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る

出 生 時 両 <u>\f\</u> 支 援 制 度 等

第

+

条

 $\mathcal{O}$ 

条

例

第

+

六

条

 $\mathcal{O}$ 

六

第

項

第

号

 $\mathcal{O}$ 

東

京

都

北

区

規

則

で

定

 $\Diamond$ 

る

事

項

は

休

憩

次

に

掲

げ

る

事

項

لح

す

る

出 生 時 両 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 支 援 制 度 等  $\mathcal{O}$ 請 求 先 申 告 先 又 は 申

請

先

金

三 地 方 公 務 員 等 共 済 組 合 法 第 七 + 条  $\mathcal{O}$ 五. 第 項 に 規 定 す る 育 児 時 短 勤 務 手 当

そ  $\mathcal{O}$ 他 れ に 相 当 す る 給 付 に 関 す る 必 要 な 事 項

第

 $\sum_{}$ + n 5 五 条  $\mathcal{O}$ 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ + 各 号 条 12 例 掲 第 げ 十 る 六 措 条 置  $\mathcal{O}$ を 六 講 第 ľ る 項 場 又 合 は 第 は 次 項  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 各 規 号 定 12 に 掲 ょ げ ŋ る 1 職 ず 員 れ に か 対  $\mathcal{O}$ L 方 7

7 法 行 第 わ  $\equiv$ な け 号 n に ば 掲 な げ 6 る な 方 1 法 に 9 1 7 は 当 該 職 員 が 希 望 す る 場 合 に 限 る

に

ょ

9

面 談 に ょ る 方 法

二 書面を交付する方法

三 す る 電 ک 子 لح メ に ょ ル り 等 書  $\mathcal{O}$ 面 送 を 信 作 12 成 ょ る す 方 る ک 法 لح 当 が で 該 き 職 る 員 ŧ が 当  $\mathcal{O}$ 該 に 限 電 子 る メ ル 等  $\mathcal{O}$ 記 録 を 出

第 + 五. 条  $\mathcal{O}$ + 条 例 第 + 六 条  $\mathcal{O}$ 六 第 項 第 三 号 及 U 第 項 第 三 号  $\mathcal{O}$ 東

京

都

北

区

力

一始業又は終業の時刻

規

則

で

定

 $\Diamond$ 

る

事

項

は

次

に

撂

げ

る

事

項

لح

す

る

二勤務の場所

三業務量の調整

第

兀 前  $\equiv$ 号 に 掲 げ る 事 項  $\mathcal{O}$ ほ か 任 命 権 者 が 別 に 定  $\Diamond$ る 事

項

歳 に + 満 五. た 条 な  $\mathcal{O}$ 1 + 子 を 養 条 育 例 す 第 る + 六 職 員 条  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 子 六 が 第 項 歳  $\mathcal{O}$ 十 東 京 月 都 に 北 達 区 規 す る 則 で 日 定  $\mathcal{O}$ 꽢  $\Diamond$ る K 日 期 カン 間 は 5 三 歳

+ 月 に 達 す る 日  $\mathcal{O}$ 꽢 日 ま で  $\mathcal{O}$ 年 間 لح す る

+ 五 条  $\mathcal{O}$ + 三 条 例 第 + 六 条  $\mathcal{O}$ 六 第 項 第 号  $\mathcal{O}$ 東 京 都 北 区 規 則 で 定  $\Diamond$ る 制 度

又 は 措 置 以 下  $\neg$ 育 児 期 両 立 支 援 制 度 等 と 1 う 0 は 次 に 掲 げ る 制 度 又 は 措

置とする。

第

一育児短時間勤務

育 児 休 業 法 第 + 九 条 第 項 に 規 定 す る 部

分

休

業

三 条 例 第 九 条  $\mathcal{O}$ 第 \_\_ 項  $\mathcal{O}$ 規 定 12 ょ る 深 夜 勤 務  $\mathcal{O}$ 制 限

兀 条 例 第 九 条  $\mathcal{O}$ 三 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 超 過 勤 務  $\mathcal{O}$ 免

除

五. 条 条 例 例 第 第 + 九 五. 条 条  $\mathcal{O}$ 第 兀 第 \_ 項 に 項 規  $\mathcal{O}$ 定 規 す 定 る に 子 ょ る  $\mathcal{O}$ 看 超 護 過 等 勤 休 務 暇  $\mathcal{O}$ 制 限

条 例 第 + 六 条  $\mathcal{O}$  $\equiv$ に 規 定 す る 子 育 て 部 分 休 暇

八七六 第 五 条  $\mathcal{O}$ 第 項 第 <del>---</del> 号 に 掲 げ る 場 合  $\mathcal{O}$ 条 例 第 六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ

時 間  $\bigcirc$ 短 縮

第

+

五

条

 $\mathcal{O}$ 

+

兀

条

例

第

+

六

条

 $\mathcal{O}$ 

六

第

項

第

号

 $\mathcal{O}$ 

東

京

都

北 X

規

則

で

定

 $\Diamond$ 

る 事

項

る

休

憩

は 次 に 掲 げ る 事 項 لح す る 0

育 児 期 両 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 支 援 制 度 等

記 第 育 五. 児 号 期 両 77 支 援 制 度 等  $\mathcal{O}$ 請 求 先 申 告 先 又 は 申

請

先

 $\mathcal{O}$ 三 様 式 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 8 る

别

間購象採出申	年度					
		_				
所属	氏名					
	氏名	続柄等	生年月日			
1 申請に係る子			月 月 串			
	申出月日	申出の内容(①又は②を記入)	※申出の内容(変更後の内	容も共通)		
2 # H	Я		<ul><li>○ 1 日につき2時間を超ス</li><li>② 1年につき規則で定める</li></ul>	<ul><li>○ 1日につき2時間を超又ない範囲内 (第1号子育で部分体験)</li><li>② 1年につき規則で定める時間(10日相当)を超えない範囲内(第2号子育で部分体験)</li></ul>	(戦) 为(第2号子育 <sup>、</sup>	で部分休暇)
	変更月日	変更後の内容(①又は②を記入)	変更が必要な事情	特別の事情の有無(有又は無を記入)	係長印	承認権者印
3 変更(第1回目)	Я					
	変更月日	変更後の内容(①又は②を記入)	変更が必要な事情	特別の事情の有無(有又は無を記入)	係長印	承認権者印
3 変更(第2回目)	Я					
4 備考						

<sup>(</sup>注) 第1号子育て部分休暇の申請は別紙1、第2号子育で部分休暇の申請は別紙2を用いること。

	10	9	~	7	6	5	4	ω	2	1	整理番号	
(職員は※	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		*
印の欄を言	ш	ш	ш	ш	ш	⊞	ш	ш	ш	ш		
exol,	から	から	から	から	から	から	から	から	から	から	月	
申請者印の	gr	or	Or .	07	Or.	07	5	Or.	or	o		
(職員は※印の欄を記入の上、申請者印の欄に押印する。)	Ж	Э	Э	Ж	Э	Ж	ш	Э	Ъ	ш	Ш	
する。)	ш	Ш	ш	ш	ш	ш	ш	Ш	ш	ш		子育で
	r A	r d	4 H	A A	4 H	ب <del>ر</del> ب	# %	A A	r d	Y H		(部分付
											株日暦 /日毎	子育て部分休暇の申請をする期間
											49	をする
	畢	平	平	平	平	畢	平	平	平	平		期間
	分	9 <del>3</del>	H	H	H	H	分	9 <del>)</del>	H	Ħ		
	から	から	から	から	から	から	から	から	から	から	平	
	時	專	畢	專	專	時	專	專	專	畢	淵	
	分	Ŕ	8	99	分	分	99	99	æ	\$		
	4	Y H	ار 44	Y H	Y H	rt A	rh He	Y H	ن ۳	A H		
·	月	月	月	月	月	月	月	月	Я	月	甲請月日	*
	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	H H	I I
•											申請者印	
,											係長印	承
												Ŋ.
											承認権者印	
											1 機	出場
											論	ž: ±t

機組織中	*		田	日十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	で部分	休暇の申	て部分休暇の申請をする期	期間	畢	墨			** 申請時間数		残時間数	置数		※ 申請月日	申請月日	申請月日	申請月日	申請月日	第2号子育で ※ 申請月日 申請利日 (系長印)
-	月	ш	から	Я	ш	Y H	專	**	から	平	分	4	時間	**	時間	93	Я						
2	月	ш	から	月	ш	A H	丰	\$	から	畢	分	A H	時間	分	時間	分	月日						
ω	Д	ш	から	五	ш	rt H	平	*	200	畢	谷	4	時間	*	時間	**	Э						
4	月	ш	から	Я	Ш	A A	專	H	から	畢	分	A H	時間	分	時間	分	月日						
5	月	ш	から	Я	ш	A H	專	分	から	畢	分	4	時間	分	時間	分	月日						
6	月	ш	から	Э	ш	A H	專	\$	23.65	平	\$	ار 14	時間	\$	時間	**	Я						
7	月	ш	から	Э	ш	્યું સ્ત	專	**	から	專	33	Y H	時間	\$	時間	93	Я						
∞	月	ш	から	Э	ш	d ₩	畢	\$	から	畢	\$	d #	時間	\$	時間	33	Я						
9	月	ш	から	Э	ш	d #	畢	\$	から	畢	\$	₫ ₩	時間	\$	時間	33	Э						
10	月	⊞	から	垣	ш	A H	郡	**	から	巫	**	4 #	專闡	\$	專闡	\$	Э						

(職員は※印の欄を記入の上、申請者印の欄に押印する。)

別紙 2

3

行

j

ک

لح

が

で

き

る

経

過

措

置

は

同

号

中

\_

七

+

七

時

間

三

+

分

と

あ

る

 $\mathcal{O}$ 

は

 $\neg$ 三

+

八

時

間

兀

+

五.

分

لح

す

る

1 ر ک 施  $\mathcal{O}$ 行  $\mathcal{O}$ 規 前 規 則  $\mathcal{O}$ 則 に 準 は ょ 備 る 令 改 和 正 七 後 年  $\mathcal{O}$ + 職 月 員  $\mathcal{O}$ 日 勤 カン 務 5

施

行

す

る

0

施

行

期

日

付

則

2  $\mathcal{O}$ 申 以 下 出 及  $\neg$  $\mathcal{U}$ 改 当 正 該 後 申  $\mathcal{O}$ 出 規 内 則 \_ 容 لح  $\mathcal{O}$ 変 1 更 う 0 並  $\overline{\phantom{a}}$ び に 第 申 時 + 請 間 五 は 条 休  $\mathcal{O}$ 日 三  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 休 則 規 暇 定 等  $\mathcal{O}$ 施 に に 行 ょ 関  $\mathcal{O}$ る す

る

条

例

施

行

規

則

子

育

7

部

分

休

暇

日

前

に

お

11

7

ŧ

に 休  $\mathcal{O}$ 規 暇 施 改 定 等 行 正 す に  $\mathcal{O}$ 後 る 関 日  $\mathcal{O}$ 子 す カン 規 育 則 る 5 て 令 条 第 部 例 和 分 八 + 休 平 年 五 三 暇 成 条  $\mathcal{O}$ + 月  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 年 三 申 第 請 三 十 を 月 \_ す 東 日 項 ま る 京 第 場 都 で 合 北  $\mathcal{O}$ 号 に 間 区 に お に 条 掲 け 例 お げ る 第 け る 同 兀 る 範 号 号 職 井  $\mathcal{O}$ 員 内 規 第  $\mathcal{O}$ 12 定 + 勤 お 六  $\mathcal{O}$ 務 1 適 条 時 7 用  $\mathcal{O}$ 間 に 三 ک 休 9 第  $\mathcal{O}$ 1 日 規 て 項 則

令和七年七月一日

東京都北区長

田

Щ

加奈

子

職 員  $\mathcal{O}$ 高 齢 者 部 分 休 業 に 関 す る 条 例 施 行 規 則 0 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

東 京 都 北 区 規 則 第 五 + \_

号

職 員  $\mathcal{O}$ 職 員 高 齢  $\mathcal{O}$ 者 高 部 齢 者 分 休 部 業 分 に 休 関 業 12 す る 関 条 す 例 る 施 条 例 行 規 施 則 行 規  $\overline{\phantom{a}}$ 令 則 和  $\mathcal{O}$ 五 \_ 部 年 + を 月 改 東 正 京 す 都 る 規 北 区 則 規 則

第

五.

+ 五 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

三 に 五. 日 粛 行 時 号 規 間 教 項 第  $\overline{\phantom{a}}$ 休 育 則 条 を 同 第 条 育 職 削 条 暇  $\overline{\phantom{a}}$ 例 第 児 三 等 亚 員 第 り 第 五. + 部 + に 勤 成 項 分 条 関 務 + 六 項 同 を 休  $\mathcal{O}$ す 時 年 条 条 中 三 業 三 同 る 間  $\mathcal{O}$ 第  $\neg$ 条 第 三 兀 条 条 月 第 五. 例 例 東 第 項 正 を 項 施 第 京 中 規 \_ 項 行 + 都 項  $\mathcal{O}$ \_ 育 当 に 規 八 北 勤 則 条 児 該 区 を 務 規 部 時 第  $\mathcal{O}$  $\neg$  $\neg$ 三 子 亚 分 間 則 職 뭉 育 成 第 第 員 休  $\mathcal{O}$ 業 部 7 + 始 九  $\mathcal{O}$ 部 \_ 分 項 号  $\Diamond$ 勤  $\overline{\phantom{a}}$ \_ 休 分 年 務 又 業 三 休 は を 第 時 を 暇 間 終 月  $\neg$ \_ + 東 幼 第 わ に を 稚 五. 休 \_\_ り 京 改 都 園 号 に \_ 条 日  $\Diamond$ 第  $\mathcal{O}$ 部 北 教 お  $\equiv$ \_\_ 区 育 休 分 11 号 教 職 暇 休 同 第 7 業 \_ 項 子 育 員 五. 等 \_ 育 を 委  $\mathcal{O}$ 項 に を \_ 7 関 同 員 勤 削 条 部 会 務 に す に ŋ 第 分 規 る 時  $\equiv$ 休 則 間 条 同 \_ 項 暇 第 幼 例 勤 条 لح + 休 稚 施 務 第

付 則

 $\mathcal{O}$ 規 則 は 令 和 七 年 十 月 日 カン 5 施 行 す る

兀

لح

す

る

を 公 布 す る。

会

計

年

度 任

用

職 員

 $\mathcal{O}$ 勤 務 時

間、

休

日、

休

暇 等 に

関

す る

規 則

0)

部

を 改 正 す る 規 則

令 和 七 年 七 月 一 日

東 京 都 北 区 長

子

Щ 田 加 奈

東 京 都 北 区 規 則 第 五 + 뭉

会 計 年 度 任 用 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 ` 休 暇 等 に 関 す る 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る

規 則

会 計 年 度 任 用 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 規 則 令 和 年 三 月 東 京 都

北

区 規 す る

 $\equiv$  $\equiv$ 号  $\overline{\phantom{a}}$ を ょ う に 正

則 第 +  $\mathcal{O}$ 部 次  $\mathcal{O}$ 改

 $\equiv$ 

条 第 七 項 第 号 中 \_ 及 U 第 + 八 条 \_ を

改  $\Diamond$ 同 項 中 第 六 号 を 第 七 号 لح L 第 五. 号 を 第 六 号 لح L 第 兀 号

第

+

八

条

及

U

第

 $\equiv$ 

十

<del>---</del>

条

 $\mathcal{O}$ 

 $\mathcal{O}$ 

次

12

次

 $\mathcal{O}$ 

\_

に

第

+

号

を

加

え

る

0

五.

育

児

休

業

法

第

+

九

条

第

項

 $\mathcal{O}$ 

規

定

に

ょ

り

部

分

休

業

を

承

認

さ

れ

て

勤

務

L

な

カン

0

た 期 間

第 十 八 条 第 兀 項 中 申 請 す る 当 該 職 員 に 0 1 7 定  $\Diamond$ 5 れ た 勤 務 時 間  $\mathcal{O}$ 始  $\Diamond$ 又

終 わ り に お 11 7 \_ 及  $\mathcal{U}$ た だ L 書 を 削 る

は

第  $\equiv$ + 条 第 項 中 申 請 す る 会 計 年 度 任 用 職 員 に 0 1 7 定  $\Diamond$ 5 n た 勤 務

 $\Diamond$ 又 は 終 わ り に お 1 7 を 削 n 基 準 時 間  $\sqsubseteq$ を 基 進 時 間

に

改

 $\Diamond$ 

同

条

第

時

間

 $\mathcal{O}$ 

始

三 え 項 中 第 \_ 三 規 + 定 \_\_ す 条 る  $\mathcal{O}$ 部 分 第 休 業 項 \_  $\mathcal{O}$ を 下 に 第 三 十 以 <del>\_\_\_</del> 下 条 \_  $\mathcal{O}$ 第 号 第 五 部 項 分 休 に 業 と 子 1 育 う 0 7 部 分 休 を 暇 加

を 第 号 子 育 7 部 分 休 暇 に 当 該 部 分 休 業 を 当 該 第 号 部 分 休 業 に 改

 $\Diamond$ る

- 1 -

第 三 + <del>---</del> 条  $\mathcal{O}$ 第 項 中 部 \_ を 全 部 又 は 部  $\sqsubseteq$ に 改  $\Diamond$ 同 条 第 項 を 次  $\mathcal{O}$ 

ように改める。

2 꽢 ち 年 1 子 三 ず 育 n 月 7 三  $\mathcal{O}$ 部 範 十 分 休 井 内 日 暇 で ま  $\mathcal{O}$ 当 で 申 該  $\mathcal{O}$ 請 期 期 を 間 間 L に ょ と う お け に と る す 子 る あ 育 会 5 7 計 カン 部 じ 年 分 8 度 休 任 暇 次 用 職 を  $\mathcal{O}$ 申 各 員 号 請 は に す る 掲 毎 げ カン 年 を る 兀 任 範 月 命 进 権 内 日 者  $\mathcal{O}$ カコ に う 5

申し出るものとする。

日

に

0

き

基

準

時

間

を

超

え

な

1

範

用

内

務 日 年  $\mathcal{O}$ に 勤 0 楘 き 時 当 間 該  $\mathcal{O}$ 会 合 計 計 年 を 度 当 任 該 用 全 職 勤 員 務  $\mathcal{O}$ 日 勤  $\mathcal{O}$ 務 日 日 数 で 日 除 当 し た 7 V) 得  $\mathcal{O}$ た 平 時 均 間 勤 務 そ 時

じて得た時間を超えない範囲内

分

未

満

 $\mathcal{O}$ 

端

数

が

あ

る

と

き

は

ح

れ

を

切

1)

捨

て

た

時

間

を

11

う

0

に

+

を

乗

 $\mathcal{O}$ 

時

間

に

間

全

勤

`

撂 養 条 げ 育  $\mathcal{O}$ 第 三  $\equiv$ を る 場 必 第 十 + 要 \_ 合 に لح 項 条 す カン  $\mathcal{O}$ あ \_ 0 る 5 第 7 事 第 + は 由 五 を 六 項 当 確 項 中 該 認 ま 各 す で 第 号 る \_ 十 に 必 に 係 改 五. 要 る が  $\Diamond$ 条 あ  $\mathcal{O}$ 三 に る 同 改 لح 項 第 五.  $\Diamond$ 認 を 項  $\Diamond$ 同 条 カン る 同 項 لح 第 5 第 に 十 き 九 次 は 項  $\mathcal{O}$ لح 項 ま L 号 で を \_ 同 を 条 加 を え 次 第 \_ る  $\mathcal{O}$ 兀 第 各 項 号 中 + に 五 \_

変 更 第 を 項 L な 申 け 出 n 時 ば に 当 予 該 測 子 す 育 る ح て 部 لح 分 が 休 で 暇 き に な 係 カン る 0 子 た 事  $\mathcal{O}$ 養 実 育 が に 生 著 ľ L た ک 1 支 لح に 障 が ょ 生 ŋ U 第

養

育

を

必

要

لح

す

る

事

由

を

確

認

す

る

必

要

が

あ

る

لح

認

 $\Diamond$ 

る

場

合

る

カン

三

項

7 休 次 部 暇  $\mathcal{O}$ 分 7 第 休 業 を 各 休 号 当 暇 項  $\mathcal{O}$ 旦 承 12 第  $\sqsubseteq$ 該 認  $\mathcal{O}$ 勤 す 掲 勤 لح に げ 뭉 改 務 務 る 11 に 時 に る う  $\Diamond$ 場 係 لح 掲 合 げ 同

第

 $\equiv$ 

+

条

 $\mathcal{O}$ 

中

第

兀

項

を

第

九

項

لح

L

同

条

第  $\equiv$ 

項

中

職

員

 $\mathcal{O}$ 

育

児

休

業

築

12

関

す

否

カン

を

判

断

す

る

た

8

必

要

が

あ

る

と

認

8

る

場

合

る

条

例

第

+

五

条

第

<del>---</del>

項

に

規

定

す

る

部

分

休

業

を

第

묽

部

分

休

業

に

子

育

7

部

分

休

暇

を

第

号

子

育

7

部

分

休

暇

に

部

分

休

業

 $\mathcal{O}$ 

\_

を

第

号

部

分

る

範

井

内

で

申

請

す

る

子

育

7

部

分

休

暇

 $\overline{\phantom{a}}$ 

以

下

 $\neg$ 

第

号

子

育

7

 $\mathcal{O}$ 

承

認

は

時

間

を

崩

位

لح

L

て

行

う

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

と

す

る

0

た

だ

項

を

口

条

第

六

項

と

L

同

項

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次

 $\mathcal{O}$ 

項

を

加

え

る

第 号 子 育 7 全 部 間 分  $\mathcal{O}$ る が 休 全 で に 日 暇 7 き あ  $\mathcal{O}$ に لح る 0 残 0  $\mathcal{O}$ 7 時 11 勤 は 7 間 務 数 申 時 当 に 間 請 該 が に 各 号 時 あ 分 間 に 0 を た 単 定 未 満 と 8 位  $\mathcal{O}$ き と る 端 L 時 当 間 数 た が 該 時 数 間 あ 勤  $\mathcal{O}$ る 務 が 第 場 時 あ 号 合 間 る 子 で  $\mathcal{O}$ 場 時 育 あ 合 間 で 7 0 7 数 部 あ 分 0

超 る 任 下 え 時 用 職 職 な 間 第 員 1 か 員  $\mathcal{O}$ 範 に 号 育 5 井 対 児 部 内 当 す 分 休 で 該 る 休 業 等 行 第 第 業 \_\_ に t 号 号 と 関  $\mathcal{O}$ 部 子 す 1 育 分 う る す 休 7 条 業 部 例 る  $\mathcal{O}$ 分  $\mathcal{O}$ 第 承 休 + 承 認 暇 認 五. を  $\mathcal{O}$ 条 を 受 受  $\mathcal{O}$ 承 け 認 け 7 に 7 第 勤 勤 0 務 務 項 11 L 7 L  $\mathcal{O}$ な は な 規 1 1 定 時 第 に 時 間 間 ょ を 項 が る 減 第 あ 部 じ る 分 た 号 会 休 時 に 計 業 間 撂 年 を げ 度 以

う

と

8

当

該

残

時

間

数

 $\mathcal{O}$ 

7

に

9

11

て

申

請

が

あ

0

た

と

き

当

該

残

時

間

数

第 三 + 条  $\mathcal{O}$ 第 項  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 三 項 を 加 え る

3  $\mathcal{O}$ 内  $\mathcal{O}$ 員 子 容 他 は 前 当  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 項 養 該  $\mathcal{O}$ 変 配 育 更 申 偶 規 に 出 者 定 著 等 以 時 に 下 に が ょ 1 予 負 る 支 第 測 傷 申 障 三 又 す 出 が 項 る は  $\overline{\phantom{a}}$ ک 生 変 疾 以 じ 更 と 病 下 る が に  $\neg$ と と で ょ 第 任 き り 1 命 う な 入 項 0 院 権 カン 申 者 0 L 出 が を た た ک 事 認 L لح لح 実  $\Diamond$ な 1 る け が う 場 生 配 n U 合 ば 偶 当 に た 者 を ک 限 該 等 L 会 と と り た 計 に 别 会

容 を 変 更 す る ح لح が で き る

4

し た 第 場 項 合 に 申 あ 出 0 を 7 L は た 会 そ 計  $\mathcal{O}$ 年 変 度 更 任 用 後 職  $\mathcal{O}$ 員 節 井 は 内 当 に 該 申 お 出 11 て を L 子 た 育 範 7 用 部 内 分 休 第 暇 三 を 項 申 変 請 更 す を

当

該

申

出

 $\mathcal{O}$ 

内

年

度

任

用

職

員

ょ

り

当

該

申

出

居

L

た

۲

لح

そ

計

年

度

任

用

職

る ک لح が で き る

5

第

項

第

号

に

掲

げ

る

範

用

内

で

申

請

す

る

子

育

て

部

分

休

暇

以

下

第

号

子

育

7

あ 定 第 部 三 る 分  $\Diamond$ 場 + 休 6 暇 \_\_ 合 n に た 条  $\mathcal{O}$ は لح 三 週 1 \_ う 間 第 に  $\mathcal{O}$ 改 勤 項 8 務 中  $\mathcal{O}$ 承 日 同 数 が 認 次 項 が は 各 三  $\mathcal{O}$ 号 各 三 日 を 以 号 + 削 上 分  $\mathcal{O}$ n 又 を 11 は ず 単 位 同 れ に と 条 年 に 間 t L 次 該 7  $\mathcal{O}$ 当  $\mathcal{O}$ 行 勤 す う 務 る 項 日 ŧ を 数 場  $\mathcal{O}$ 加 が 合 と え 百 に す る る + を 12 日 以 9 上 11

2 は 任 子 命 育 権 者 7 部 は 分 休 会 暇 計 を 年 承 度 認 任 す 用 職 る ک 員 لح が が 次 で  $\mathcal{O}$ き 各 な 뭉 1  $\mathcal{O}$ 11 ず n カン に 該 当 す る 場 合 に 0 11 て

で

7

係 る 申 出 申 出 内 容  $\mathcal{O}$ 変 更 に ょ る 場 合 を 含 む を

L

7

1

第

号

部

分

休

業

に

第 三 員 十 第 12 五 +  $\equiv$ 施 妊 る る 行 条 \_ 娠 + 職 職 付 対 第 す  $\mathcal{O}$ 条 員 期 員 +  $\mathcal{O}$ に 則 日 則 る 出 条 号 に 六 は 意 兀 産  $\mathcal{O}$ 部 0 9 等 分 向 ま 五. 1 1 確 で に 休 条  $\mathcal{O}$ て て 業 例 認  $\mathcal{O}$ 9 次 等 規 第 に 第 に 第 11 \_ <del>\_\_</del> に 定 + 7 次 係 + 0 は 六  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 号 る 号 1 条 子 子 申 申 7  $\mathcal{O}$ 育 育 妊 出 条 出 準 娠 六 を を て 7 カン 用 及 加 部 申 部 す 出 CK た え 分 分 出 会 産 職 休 休 る る 内 等 員 計 暇 容 暇 に 勤 年  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 申 務 度 変 申 0 時 任 更 1 請 請 7 間 用 が に が  $\mathcal{O}$ 職 あ ょ あ

規 申 則 員 出 第 に を 対 L + す た 五. る 会 条 意 計  $\mathcal{O}$ 向 年 八 確 度 か 認 任 5 等 用 第 職

る

場

合

を

含

ts.

を

L

7

1

0

た

場

合

0

た

場

合

施 行 前  $\mathcal{O}$ 準 備

1

 $\sum_{i}$ 

 $\mathcal{O}$ 

規

令

和

七

年

月

日

5

施

行

す

る

2 休 規 暇  $\mathcal{L}$ 則 行  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\overline{\phantom{a}}$ 以 申 規 出 下 則 及 に \_ が U ょ 改 当 正 る 改 該 後 申  $\mathcal{O}$ 正 出 規 後 内 則  $\mathcal{O}$  $\sqsubseteq$ 容 会 と 計  $\mathcal{O}$ 変 年 11 更 う 度 並 任 び 用 に 第 職 申  $\equiv$ 員 十 請  $\mathcal{O}$ は 勤 条 務  $\mathcal{O}$ 時 間  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ 則 規 休  $\mathcal{O}$ 定 日 に 施 行 ょ 休 る  $\mathcal{O}$ 暇 日 子 等 前 育 に 12 7 関 お 部 す

7

ŧ

う

لح

で

き

る

経

過

措

置

3 改 正 後  $\mathcal{O}$ 規 則 第  $\equiv$ + 条  $\mathcal{O}$ 第 項 第 号 に 掲 げ る 範 进 内 に お 7 て  $\mathcal{O}$ 規

則

1

分

る

用  $\mathcal{O}$ に 施 0 第 行 7 <del>\_</del>  $\mathcal{O}$ て 日 項 にか は ` 規 5 定 令 同 号 す 和 中 る八 子 年  $\neg$ + 育 三 \_\_ 7 月 三 部 と +あ 分 休 一 る  $\mathcal{O}$ 暇 日 のま は  $\neg$ で 申 五.  $\mathcal{O}$ 請 \_ を 間 と すに す る お 場け る 合 る 12 改 正 お 後 け る  $\mathcal{O}$ 同 規 号 則 の第 三 規 + 定  $\mathcal{O}$ \_

適

条

令 和 七 年 七 月一

日

育 児 休 業 等 に 関 す る 条 例 施 行 規 則  $\bigcirc$ 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

職

員

 $\mathcal{O}$ 

Щ 田 加 奈 子

東

京

都

北

区

長

東京都北区規則第五十三

뭉

職

員

 $\mathcal{O}$ 

育

児

休

業

等

12

関

す

る

条

例

施

行

規

則

 $\overline{\phantom{a}}$ 

平

成

兀

年

三

月

東

京

都

北

区

規

則

第

五

뭉

職 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 に 関 す る 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

 $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る 0

定 休 第 第 業 に 百 <del>---</del> 第 + ょ + 項 三 号 中 لح る 同 条 1 う 条 以 部  $\mathcal{O}$ 第 下 分 見 休 出 業  $\mathcal{O}$ 項 育 L に 児 中 申  $\mathcal{O}$ 出 規 休 定 業 を 部 当 す 法 分  $\neg$ \_ 休 該 る 地 申 方 業 部 と 出 分 公  $\mathcal{O}$ 1 内 休 う 務 0 員 容 業  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 下  $\mathcal{O}$ 変 育 に 以 第 更 下 + 児 \_ ک 休 申 及 九 U  $\mathcal{O}$ 業 出 条 \_ 条 第 等 及 及 に び に ` び 関 項 変 す 第 更 部 + 第 る 並 三 分 兀 法 U 休 条 項 律 に 業 12 及 承 び 平 を お 認 1 第 成 加 兀 三 請 7 え 求 項 年 \_ 書 部  $\mathcal{O}$ 法 百 分 規 律 条

3 を \_ 部 任 命 分 権 休 者 業 は 簿 部 に 分 改 休  $\Diamond$ 業  $\mathcal{O}$ 同 申 条 に 出 内 次 容  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 変 項 更 を に 加 え 0 る 1 て 条 例 第 + 五. 条  $\mathcal{O}$ 五 に 規 定

る は 子 当  $\mathcal{O}$ 該 養 育 申 出 に 内 著 容 L  $\mathcal{O}$ 1 変 支 更 障 を が L 生 ょ じ う る لح カン す 否 る カン を 職 員 判 に 断 対 す L る 7 た 証  $\Diamond$ 明 必 書 要 類 が  $\mathcal{O}$ あ 提 る 出 لح を 認 求 8  $\Diamond$ る る لح ک き

とができる。

で あ 第 + る 三 勤 務 条 日  $\mathcal{O}$ が 中 あ る ŧ で  $\mathcal{O}$ あ 0 を 7 削 る 日 に 0 き 定 8 5 n た 勤 務 時 間 が 六 時 間 + 五. 分 以

第 + 五 条 中 \_ 部 分 休 業 承 認 請 求 書 を 部 分 休 業 簿  $\sqsubseteq$ に 改  $\Diamond$ 

る

号

上

付 則 第 三 項 中 \_ 地 方 公 務 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 12 関 す る 法 律  $\overline{\phantom{a}}$ 平 成 三 年 法 律 第 百 +

す

以 別下 第 育 五 児 号 休 様 業 式 法 を「 次と Ø 1 よ う う ° に ひ 」 め を る 。 育 児 休 業 法」 に 改 め る。

記

## 些 分休業 鄣

申出対象期間	年度			
外属	<b>尺</b> 名	•		
	氏名	続柄等	生年月日	
1 請求に係る子			年 月 日	
				•
	日日田申	申出の内容(①又は②を記入)	2000年で、後の内容(変更後の内容)	후も共通)
2 == 田	月月		<ul><li>① 1日につき2時間を超え</li><li>② 1年につき条例で定める</li></ul>	<ul><li>(山) 1日につき 2時間を超えない範囲内 (第1号部分体業)</li><li>② 1年につき条例で定める時間(10日相当)を超えない範囲内 (第2号部分体業)</li></ul>
	変更月日	変更後の内容(①又は②を記入)	変更が必要な事情	特別の事情の有無(有又は無を記入)
3 変更(第1回目)	Я в			
	変更月日	変更後の内容(①又は②を記入)	変更が必要な事情	特別の事情の有無(有又は無を記入)
3 変更(第2回目)	月 月			
4 備 考				

<sup>2 (</sup>注) 申出、変更又は請求に当たっては、母子健康手帳等を提示すること。 第1号部分休業の承認の請求は別紙1、第2号部分休業の承認の請求は別紙2を用いること。

10	9	∞	7	6	Si	4	ω	2	1	機工機工機	
月	Э	Я	Я	Я	Я	Я	Д	Я	Л		*
ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш		
から	<i>\$</i>	から	から	から	から	から	から	から	から	Я	
Э	Э	Э	月	Э	月	月	Э	月	Я	ш	
ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш		部分
₹ ₩	H C)	ж Б	He A	Hr L	ж Б	Hr.	H G	ж Б	#P.		<b>米業の</b> 恵
										毎日/ 曜日等	部分休業の承認の請求をする期間
퓩	平	平	專	平	專	專	專	專	平		する期間
\$	\$	\$	99	\$	93	93	æ	93	\$		
から	から	איל	から	איל	から	から	315	から	から	邢	
型	平	平	畢	平	畢	畢	平	畢	平	壨	
谷	谷	*	93	*	93	93	#	93	谷		
₩ Ы	H A	H ()	A.	H ()	H ()	#  }	H A	H ()	## G		
Э	ш	Э	Я	Э	Я	Я	Э	Я	Ш	請米月日	*
ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш		1
										請求者印	承
										条長印	· 認
										承認権者印	- Ça
										機出	田野瀬
										扁	· +

(職員は※印の欄を記入の上、請求者印の欄に押印する。)

}

*	整理番号	1	2	3	4	Vs.	6	7	∞	9	5
		月	月	且	月	月	月	垣	垣	垣	Э
		ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш
	Я	から	から	から	から	から	から	3,0	から	から	20
部分作	Ш	月	月	月	月	月	月	月	Э	月	Э
木業の		ш	ш	⊞	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш
承認の請		Y H	A H	A H	A He	A H	Y H	A H	Y H	A H	A M
部分休業の承認の請求をする期間		專	华	專	專	畢	專	專	平	專	恭
期間		\$	分	分	33	分	**	\$	*	**	*
	帮	から	から	から	から	から	から	から	から	から	から
	蝿	專	專	專	專	畢	專	畢	畢	專	華
		ЭÌ	分	分	93	分	H	33	\$	***	*
		식	A H	A H	식	A H	식	A H	Y H	A H	A 3H
***************************************	請求時間数	時間	围轴	開牟	時間	時間	時間	開幹問	時間	間幹問	時間
*	数	53	分	分	93	分	分	\$	**	**	*
	残時間数	時間	時間	時間	時間	中間	時間	間都	時間	間	專圖
*		分	分	分	分	分	分	93	**	**	\$
] 	請求月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	Я	Я	Я	Э
	請求者印										
乗 第2	印 係長印										
第2号部分休業の時間数 認 思 出勤権	印 承認権者印										
* * * * *											
井間数	I 機 B E E E										
時間	編巻										
分											

(職員は※印の欄を記入の上、請求者印の欄に押印する。)

日

2

 $\mathcal{O}$ 

規

則

 $\mathcal{O}$ 

施

項

 $\mathcal{O}$ 

 $\sum_{i}$ 

1

令

和

七

年

+

月

日

か

5

施

行

す

る 0

た

だ

L `

次

項

 $\mathcal{O}$ 

規

定

は `

公

布  $\mathcal{O}$ 

施 行 期

付

則

 $\mathcal{O}$ 規 則 日 は

施 か 行 5 前 施 行  $\mathcal{O}$ す 準

備 る

 $\sum_{i}$  $\mathcal{O}$ 規 則 に ょ る 改 正 後  $\mathcal{O}$ 職 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等

規 定 に ょ る 部 分 休 業  $\mathcal{O}$ 申 出 及 び 当 該 申 出 内 に 容 関  $\mathcal{O}$ す 変 る 更 条 並 例 び 施 に 行 規 承 認 則  $\bigcirc$ 第 請 + 三 求 は 条

第

行  $\mathcal{O}$ 日 前 に お *(* ) 7 ŧ 行 う  $\sum_{}$ と が で き る

則

会

計

年

度

任 用

職 員

O給 与 及 び 費

用

弁

償 に

関 す る 条

例 施

行

規 則

 $\bigcirc$ 

部 を 改 正 す る 規

を 公 布 す る。

令 和 七 年 七 月 日

京 都 北 区 長

田

奈

子

東 Щ 加

東 京 都 北 区 規 則 第 五 + 兀 뭉

会 計 年 度 任 用 職 員  $\mathcal{O}$ 給 与 及 び 費 用 弁 償 に 関 す る 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す

る 規 則

会 計 年 度 任 用 職 員  $\mathcal{O}$ 給 与 及 び 費 用 弁 償 に 関 す る 条 例 施 行 規 則 令 和 年 三 月 東 京

都 北 区 規 則 第 三 + 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

間 に 第 あ + 0 て 兀 は 条 三 第 分 \_  $\mathcal{O}$ 項 中 日 \_\_ を 分 加  $\mathcal{O}$ え <del>---</del> 日 \_ 同 項  $\mathcal{O}$ 下 中 に 第 七  $\neg$ 号 لح を L 第 九 第 六 号 لح 号 及 L び 第 第 六 七 号 号 に を 第 掲 八 げ 号 る لح 期

L 第 五. 号  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 号 を 加 え る

六 育 児 休 業 法 第 + 九 条 第 項 に 規 定 す る 部 分 休 業 以 下 部 分 休 業 لح 1

う を L 7 1 る 会 計 年 度 任 用 職 員 と L て 在 職 L た 期 間

七

会

計

年

度

任

用

職

員

勤

務

時

間

規

則

第

三

+

条

 $\mathcal{O}$ 

第

項

に

規

定

す

る

子

育

7

部

分

第

+

兀

条

第

 $\equiv$ 

項

中

育

児

休

業

法

第

+

九

条

第

<del>---</del>

項

に

規

定

す

る

\_

 $\neg$ 

会

計

年

度

任

用

休 暇 以 下 \_ 子 育 7 部 分 休 暇 لح 1 う に ょ ŋ 勤 務 L な 1 期 間

職 員 勤 務 時 間 規 則 第 三 十 条  $\mathcal{O}$ に 規 定 す る 及 び  $\overline{\phantom{a}}$ 以 下 \_ 子 育 7 部 分 休 暇 لح

1 う を 削 る

げ は 三 る 第 期 分 + 間  $\mathcal{O}$ 兀 に 日 条 あ لح  $\mathcal{O}$ 0 7 L 第 は 三 第 分 十 項  $\mathcal{O}$ 号 中 日 12 第  $\overline{\phantom{a}}$ 改 八 \_  $\Diamond$ 号 \_ を 加 を え 第 六 同 日 項 号 中  $\mathcal{O}$ 及 第 下 CK + 12 第 七 号 号 を 第 に 第 六 掲 + 号 げ 兀 及 る 号 てバ 期 لح 第 間 七 に L 号 あ 第 12 0 六 撂 7

か 5 第 + 号 ま で を 号 ず 0 繰 り 下 げ 第 五. 号  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 間 号 を 加 え る

号

六 部 分 休 業 を L 7 11 る 会 計 年 度 任 用 職 員 لح L 7 在 職 L た 期

七 子 育 7 部 分 休 暇 に ょ り 勤 務 L な 1 期 間

又  $\neg$ は 第 部 子 分 育 +休  $\mathcal{T}$ 業 兀 部 条 分 と  $\mathcal{O}$ 休 1 暇 う 第 \_ 三 を 項 中 を  $\neg$ に 削 育 児 0 り 1 休 7 業 同 は 条 法 第 第  $\sqsubseteq$ + 兀  $\mathcal{O}$ 項 九 下 中 条 に 第  $\neg$ 介  $\neg$ そ 護 項 休 に れ ぞ 暇 規 れ 定  $\sqsubseteq$ す  $\mathcal{O}$ を 下 る 加 に え 及 び 部  $\neg$ 分 合 計 休 以 L 業 下

付 則 は

部

分

休

業

及

び

 $\neg$ 

そ

n

ぞ

ħ

\_

を

削

る

た

時

間

を

そ

れ

ぞ

れ

合

計

L

た

時

間

に

改

 $\Diamond$ 

同

条

第

五.

項

中

子

育

7

部

分

休

暇

又

ح  $\mathcal{O}$ 規 則 は 令 和 七 年 +月 日 か 5 施 行 す る

令和七年七月一日

東京都北区長

田

Щ

加奈

子

員  $\mathcal{O}$ 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 ∅→ 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

職

東 京 都 北 区 規 則 第 五. + 五

号

職 員  $\mathcal{O}$ 期 末 手 当 に 関 す る 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

職 員  $\mathcal{O}$ 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 昭 和 五 + 年 兀 月 東 京 都 北 区 規 則 第 三 + 八 号  $\mathcal{O}$ 

部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

号

+

育

児

休

業

法

第

+

九

条

第

<del>---</del>

項

に

規

定

す

る

部

分

休

業

 $\overline{\phantom{a}}$ 

以

下

 $\neg$ 

育

児

部

分

休

業

と

十

 $\equiv$ 

勤

務

時

間

条

例

第

+

六

条

 $\mathcal{O}$ 

三

に

規

定

す

る

子

育

7

部

分

休

暇

以

下

子

育

7

部

分

第 兀 条 第 項 中  $\neg$ 及 び 第 + \_ 号 \_ を か 5 第 + 三 号 ま で に 改  $\Diamond$ 同 項 中 第 +  $\equiv$ 

を 第 十 五. 号 لح L 第 + $\stackrel{-}{-}$ 号 を 第 + 兀 号 と L 第 + \_ 号  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 号 を 加 え る

う 0 職 員 لح L

1 を L て 11 る 7 在 職 L た 期 間

休 暇 と 1 う 0 に ょ り 勤 務 L な 11 期 間

第 兀 条 第 五. 項 中 育 児 休 業 法 第 + 九 条 第 \_ 項 に 規 定 す る 部 分 休 業 \_

付 則 休

業

に

改

 $\Diamond$ 

勤

務

時

間

条

例

第

十

六

条

 $\mathcal{O}$ 

 $\equiv$ 

に

規

定

す

る

\_

を

削

る

を

育

児

部

分

ح  $\mathcal{O}$ 規 則 は ` 令 和 七 年 + 月 日 か 5 施 行 す る

令 和 七 年 七 月一

日

東 京 都 北 区 長

田

Щ

加

奈

子

員 る。

 $\mathcal{O}$ 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 ∅→ 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す

職

東京都北区規則第五十六号

職 員  $\mathcal{O}$ 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

職 員  $\mathcal{O}$ 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 昭 和 五 十 兀 年 三 月 東 京 都 北 区 規 則 第 九 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部

を次のように改正する。

ま を で 第 を 三 第 + 条 号 八  $\mathcal{O}$ ず 号 \_ 第 0 に 繰 <del>---</del> 改 ŋ 項 中 下  $\Diamond$ げ 及 同 第 項  $\mathcal{U}$ + 中 第 第 十 号 + <del>---</del> 九 号  $\mathcal{O}$ \_ 次 号 に を を 第 次  $\neg$  $\mathcal{O}$ カン + 5 号 第 <del>---</del> を 뭉 + 三 加 لح 号 え L る ま 第 で \_ + に 号 か 5 第 第 + + 六 八 号 号

+ 1 う 0 育 児 休 を 業 L 法 て 1 第 + る 職 九 員 条 لح 第 \_\_ L 7 項 在 12 職 規 定 L た す 期 る 間 部 分 休 業  $\overline{\phantom{a}}$ 以 下  $\neg$ 育 児 部 分 休 業 \_

+ 三 休 暇 \_ 勤 と 務 時 1 間 う 条  $\overline{\phantom{a}}$ 例 第 に ょ 十 り 六 勤 条 務  $\mathcal{O}$ L 三 な に 1 規 期 定 間 す る 子 育 7 部 分 休 暇 以 下 子 育 て 部

育 休 7 業 第 三 部 条 分 以  $\mathcal{O}$ 休 下 暇 第 部 と 五. 分 項 1 休 う 中 業 0 勤 と \_ 務 V を 時 う 削 間 ŋ 条 例 第 を 育 + 児 六 育 休 条 児 業  $\mathcal{O}$ 部 三 法 分 第 に 休 + 規 業 九 定 条 す に 第 る 改 \_  $\otimes$ 項 及 12 び 同 規 条 定 第 す 以 六 る 下 項 部 中 分 子

L は 下 な に 1 期 を そ 間 れ 育 に ぞ 児 あ ħ 短 0  $\sqsubseteq$ 7 時 を は 間 加 勤 え に 務 ` 職 員  $\neg$ 育 定 等 児 年 と 短 前 L 時 再 7 間 任 在 勤 職 用 務 短 L 職 時 た 員 間 期 等 勤 間 と 務 に し 職 お て 員 1 在 لح 7 職 L 介 L 7 護 た 在 休 期 職 暇 間 L に に た ょ 期 n あ 間 勤 0 に 務 7

介

護

休

暇

 $\mathcal{O}$ 

下

に

育

児

部

分

休

業

又

は

子

育

7

部

分

休

暇

を

0

7

7

は

 $\mathcal{O}$ 

分

と

計 同 暇 あ 条 L 9 第 た 育 7 七 時 児 は 部 項 間 \_ 中 を 分 休 勤 を `  $\neg$ 務 業 時 又 定 子 育 間 は 年 て 条 子 前 部 例 育 再 分 て任 用 休 を 部 暇 \_ 分 短 又 そ 休 時 は れ 間 暇 に 部 ぞ 勤 分 れ ょ 務 合 休 り 職 業 計 勤 員 \_ L 務 لح を た L し 時 な て \_ 在 又 間 11 は 職 を 期 子 間 し 勤 育 務 に た て 期 時 あ 間 間 部 9 に 分 条 7 休 例 お は \_ *\*\ 暇  $\sqsubseteq$ \_ て に に に 改 介 改  $\Diamond$ 護 ` 合  $\Diamond$ 休

付則

る

ک  $\mathcal{O}$ 規 則 は ` 令 和 七 年 + 月 日 カコ 5 施 行 す る

 $\mathcal{O}$ 

災

害

部 を

令

和

七

年

七

月

日

改 正 す

る 規 則 を

公 布

す

る。

L

た

者

に

係 る

損 害

補 償

に 関

す る

条 例 施 行 規 則

に 際 L 応 急 措 置  $\mathcal{O}$ 業 務 等 に 従 事

東 京 都 北 区 長

田

Щ

加

子

奈

東 京 都 北 区 規 則 第 五. 十 七

号

災 害 に 際 応 急 措 置  $\mathcal{O}$ 業 務 等 に 従 事 L た 者 に 係 る 損 害 補 償 に 関 す る 条 例 施 行

規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

昭 災 和 害 六 に + 際 L 応 年 六 急 月 措 東 置 京  $\mathcal{O}$ 都 業 北 務 X 等 規 に 則 従 第 事 L 十 た 五 者 号 に  $\overline{\phantom{a}}$ 係  $\mathcal{O}$ る 損 <del>---</del> 害 部 を 補 次 償  $\mathcal{O}$ に ょ 関 す う に る 改 条 正 例 施 す 行 規 則

る

に 例 従 第 事 昭 \_\_ L 和 条 た 兀 中 者 + \_ に 災 係 年 害 る + に 損 際 月 害 東 L 京 応 補 償 都 急 に 措 北 関 置 区 す 条  $\mathcal{O}$ る 例 業 条 第 務 例 + 等 五. に  $\overline{\phantom{a}}$ 令 号 従 和  $\sqsubseteq$ 事 七 を L 年 た 七 災 者 月 害 に 東 に 係 京 際 る 都 L 損 北 応 害 区 急 補 条 措 償 例 置 に 第 関  $\mathcal{O}$ 業 す + 務 る 八 等 条

第 条 中 次  $\mathcal{O}$ を 次 に 掲 げ る に 改  $\Diamond$ る

号

に

第

+

八

条

\_

を

第

九

条

\_

に

改

8

る

第 兀 条 中 次  $\mathcal{O}$ 各 号  $\mathcal{O}$ を 次  $\mathcal{O}$ 各 号  $\mathcal{O}$ 1 ず れ カン に 改 8

\_

る

害 補 第 五 償  $\mathcal{O}$ 条 基 第 準 を 項 定 第 五.  $\Diamond$ る 号 政 工 令 中 昭 条 例 和 三 第 + + \_\_ 五 年 条 第 政  $\equiv$ 令 第 項 三 百 を  $\equiv$ + 非 五 常 号 勤 消 以 防 下 寸 員 等 令 に と 係 1 る 損

0 第  $\overline{\phantom{a}}$ 三 項 第 中 九 条 第 消 三 防 寸 項 員 等 に 公 務 災 特 害 に 指 補 償 定 等 さ 共 れ た 済 者 基 \_ 金 法 を \_ 施 行 特 12 令 \_ 指 定 を し \_ 消 た 者 防 寸 員 に 等 改 公  $\Diamond$ 務 災 同

害 補 償 等 責 任 共 済 等 に 関 す る 法 律 施 行 令 に 改 8 る

条

う

が そ 第 七  $\mathcal{O}$ 条 同 意 第 を 得 項 中 7 あ 5 条 か 例 ľ 第 8 七 指 条 定 第 す る 項 医 に 療 規 機 定 関 す 又 る は 指 薬 定 局 医 療 以 機 下 関 又  $\neg$ は 指 定 薬 医 局 療 機 を 関 等 区 長

と 7 う に 直 接 指 定 医 療 機 関 又 は 薬 局 \_ を  $\neg$ 直 接 指 定 医 療 機 関 等 \_ に 改

 $\Diamond$ 

る 0

機 第 第 1) 関 五 第 뭉 号 同 八 中 若 条 を 条 第 中 L < 指 指 \_\_ 定 定 は 号 条 医 医 第 中 例 六 療 療 第 機 号 機 指 七 \_ 関 定 関 条 等 第 を 医 を 療  $\equiv$ に 令 機 項 \_ 第 \_ 指 関 \_ 条 定 兀 を 例 条 を 医 第 療 第 令 \_ 七 機 第 指 <del>---</del> 条 関 項 定 兀 等 第 第 医 条  $\sqsubseteq$ 五. 療 第 項 に 号 機  $\equiv$ 第 改 若 関 項 五. L 等  $\Diamond$ < 号 に 若 は 改 同 12 L 条 第  $\Diamond$ < 第 六 三 は 号 条 \_ 뭉 \_ 例  $\mathcal{O}$ を 中 に 第 各 改 七 号 \_ 令 指 条  $\Diamond$ 第 定 第 を 兀 医 削 同 条 療 条 項

第 \_ 項 第 五. 号 若 L < は 第 六 号 に 改 8 る

第 九 条 中  $\mathcal{O}$ 各 号 を 削 り 同 条 第 号 中 第 兀 + 三 条 1 九 第 項 を 第 七

条 第 項 に 改  $\Diamond$ る

六

第 第 + + 三 条 条 第 を 次 項  $\mathcal{O}$ 中  $\neg$ に に \_ 改 を 1 ず れ カン に に 改 8 る

ょ

う

8

る

第 + 三 条 削 除

第 +  $\equiv$ 条  $\mathcal{O}$ か 5 第 +  $\equiv$ 条  $\mathcal{O}$ 五. ま で を 削 る

第 第 項 +  $\mathcal{O}$ 六 条 規 定 中 第 に 三 ょ 項 ŋ を 第 を 削 兀 n 項 と L 選 任 第 さ 項 n た を 第 者  $\sqsubseteq$ 三 項  $\mathcal{O}$ 下 と に L 第 以 下 項 中 代 \_ 表 条 者 例 第 と + 1 条

う

を

加

え

0

同

項

を

同

条

第

項

لح

L

同

条

に

第

項

と

L

て

次

 $\mathcal{O}$ 

項

を

加

え

る

0

遺

族

補

償

年

金

を

受

け

る

権

利

を

有

す

る

者

が

人

以

上

あ

る

لح

き

は

n

5

 $\mathcal{O}$ 

う

5

十

事 人 を 情 代  $\mathcal{O}$ 表 た 者  $\Diamond$ に 代 選 表 者 任 L を 選 な 任 け す れ ば る ک な と 5 が な で 7 0 き な た だ 7 لح L き は 世 帯  $\sum_{i}$ を 異  $\mathcal{O}$ に 限 す ŋ で る 等 な B 7 む を 得 な 7

各 号 第 第 ++ 八 七 を  $\neg$ 条 条 令 中 第 第 項 条 に 中 第 \_  $\equiv$ を 条 項 例 \_ 各 11 第 号 ず 十 兀 れ に 条 カン 改 に 第  $\Diamond$ に 項 \_\_ 改 同 条  $\Diamond$ を 第 同 令 号 条 第 中 第 八 \_ 条  $\neg$ 条 号  $\bigcirc$ 例 中 兀 第 第 \_ + 条 例 項 \_ 条 第 第 五 に 条 改 項 第  $\Diamond$ 三 る 項 を

别 第 表 第 + 三 — か 条 5 第 别 表 項 第 中 三 ま 第 で を 十 削 五. る 条 0 \_ を  $\neg$ 第 六 条 \_\_

に

改

8

る

令

第

八

条

 $\bigcirc$ 

第

\_\_

項

\_

に

改

 $\Diamond$ 

る

0

記 第 + 号 様 式 か 5 别 記 第 + 号 様 式 ま で を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改  $\Diamond$ る

别

## 別記第10号様式(第14条関係)

												穿	<b></b>	号
			傷	病	補		年	金	証	書				
E. E.	<u>.</u>		名											
住			所											
傷	焉 病	等	級				第							級
傷	易病 補	償年	至額											円
支	え 給開か	冶年月	月日								年		月	<u> 日</u>
災害に際し 基づき、上記						事した	た者に	こ係る	る損害	害補伯	賞に関	する	分条例	の規定に
	年	月	Ē	∃										
							東	東京者	幣北区	区長				印

## 別記第11号様式(第14条関係)

									第	号
		障害	補 償	年	金	証	書			
氏		名								
住		所								
障	害 等	級		第						級
障	害補償年	額								円
支統	給開始年月	日	_					年	月	<u> </u>
災害に際した基づき、上記の				た者に	こ係る	る損害	害補償	に関す	トる条例	の規定に
4	年 月	Ħ								
				亰	東京者	%北区	区長			印

## 別記第12号様式(第14条関係)

						 第	号
	遺が	<b>美</b> 補 信	第一年	金 証	書		
氏	名	_					
住	所	_					
遺族	補償年額	_					円
支給則	<b>射始年</b> 月日	_					
災害に際し応急基づき、上記のと			った者に <sup>、</sup>	係る損害	害補償に関	する条例⊄	対定に
年	月 日						
			東	京都北口	区長		印

東京都北区長

記第	1 4 号雨	<sub>表</sub> 式(第 )	L 6 条関係)									
			什	) <u>=</u>	表者	· 選	任 届					
被	氏	名						生年月日		年	月	日
災	住	所										
者	職	業										
事	日	時		年		月	日	時	分			
故発	場	所										
生	原	因										
受	氏	名	生年月日		住	所	死亡者との続柄	疾病の	有無	受給を計をしている。	司じく	
給			年 月	日				ある・	ない	いる	• V\7	とい
小口			年 月	日				ある・	ない	いる	• V\7	とい
権			年 月	日				ある・	ない	いる	· 117	よい
			年 月	日				ある・	ない	いる	· 117	とい
者			年 月	日				ある・	ない	いる	· 117	とい
備考												
	災害に関	祭し応急排	昔置の業務等	これ	送事し	た者に	工係る損害	補償に関	する剣	条例の	規定	に
基	づき、」	上記の損害	害賠償に関し	て、	遺族	補償年	F金等の請	求及び受	:領に~	ついて		
			を代表者と	して	て選任	しまし	たのでお	届けしま <sup>、</sup>	す。			
	年	月	日									
						選任	壬者 氏名					

殿

被選任者氏名

(表)

							-	損	害	補	佰	賞記	録	簿		(			)
氏 (生	三年	月		名 )	(		年		月	E	生	男 E) 女	信	E 所					
認及	定 <sup>在</sup> び	手 番	月	日号		第	Ē	F	号	月		日	5)	《害発	生の原	原因			
傷傷		の 病		位 名															
負傷 発病	<u>i</u>	丰	月	日			Ź	F		月		日							
重け無限	てなi 及 び り	過失 支 朝	給	有制間	有無			年年		月月		日から 日まで		通常得 又入の	ている 日額	5			円
2	年	月	日フ	人院			年		月		日	4	Ę.	月	日		年	月	月日
2	年	月	日				年		月		日	4	F	月	日		年	月	日
補	償	政	文令等	第 2	条	第2	2項			F	]	記事							
		政	文令第	第 2	条	第:	3項			F	]								
基印	楚額			į	十					F	-								
	受年	月	理 日			月	定日	支年		給 日				期 間年月日		補		償	額
													$\sim$						
療													$\sim$						
													$\sim$						
養													$\sim$						
													$\sim$						
4-1													$\sim$						
補													$\sim$						
													$\sim$						
償													$\sim$						
													$\sim$						
									計	_						_			

	受 年	月	理日	決年	月	足日	支年	月	給日	休   年月	業 月~年	間 月日	補	賃	賞	額
											~					
											~					
休											~					
											~					
業											~					
											~					
											~					
補											~					
											~					
償											$\sim$					
											$\sim$					
											~					
								計								
障害補償一時	受年	月	理日	決年	月	定日	支年	月	給 日	障害	等	級	補	ſ	賞	額
一時金										第		級				
			区	分	又	理				支 給	申	請者氏々	名	防災従 者 と 続	事の	補償額
種別	IJ		<u></u>	\	年	月日	年	F月	目	年月日		1 L L L L	H 	続	柄	
遺加	医補/	償 –	- 時	金												
葬	祭	補	Ì	償												
備	考															
	手補償	類	合計						F	]	年	—————————————————————————————————————	]	日		· 注結 : :続

別記第22号様式(第22条関係)

		琳			#	+			徙				淡			财					
事故	第三者行	死亡又は	既存障害		病等級资	国家人は高	活まずる	三		補質基	□ -           	年会涌知書(	傷病補償年金支払決定  年 月 日	傷病等級該	故が発生	種 水防従事	住 所	氏 名			
種 別	為事故	等級変更	の状態	; : : : : : : : : : : : : : : : : : : :		光 杓 吋 ツーラー	F	等宝績の有無	田	碰額	() -	の送付年月	金支払決定   日	当年月日	した年月日	水防従事者・応急措置従事者					
	有・無 関	死亡・等級	有・無					有 【最初	訳 扶養	内 基 礎	•					<b>【従事者</b>					
	賠償額	変更	殺	i			•	最初の決定年月	親族	額			•	•	•			年	傷 病		
	円	•					) ,,,,,	日) ・無	田	田			•	•	•			月 日生	補貨		
滩	41	備		底	悉		診	[k		ъ В	9-	۲	F1	- 그)	> <u>i</u>	L ) 说	ī e	舍	年 金		(表)
							•	•	•				•	•		支給開始 年 月 日	支 浴 さ れ る	法令の名3 の種類	記錄簿	事 英	
															級	障害の等級	うこととなった年	称及び給付る		4	
															円	年金額	た年月日	び給付又は補償		年度 年金支払 年度 決定番号	
															本	調整				拉斯 拉罗	
															田	額	年月				
																撤要	Ш				

	•	•	•	•	•			•	•	•	•		•	•			•	•		事故年度
	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	月四艺	
																			支期	
																			払間	
																				) 中 決 全 完
																		田	額	支箍 払界
																			権	
																			烟	氏 名
																				Пи
	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•		•	•		•	•	•	支年	
•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Я	
																		•	月月日	
																			月日男	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日期間支	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日期間支	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		払 支 払 友 払 額 横 月 日 期 間 支 払 額 横	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住

		琳			#	+			從				淡			超					
事故	第三者行	死亡又は急	既 存 障 害	. 1	害等級资	入 源	/ / / / / / / / / / / / / /	支給制限等実績		補償基	ļ	争道	障害補償年金	治癒した	事故が発生し	種 水防従事者・	住所	氏 名			
種別	為事故	等級変更	の状態	: :	三時の障害	772	 F	に績の有無	田	礎 額	- - -	知書の洪什年月	支払決	年月日	した年月日	者・応急措置従事者					
	有・無	死亡・	1					有()	訳 扶	内棋	•					置従事者					
	賠償額	等級変更						最初の決定年	養親族	礎 額	•		•	•	•				<b>15</b> 7		
		•	殺				•	至年月日)					•	•	•			年 月	障害補		
	円	•						• 浦	田	田	•							日生	質 年		(表)
並		備		庥	釆		浴	)d]	\$	Ŋ	9-	۲	Ñ	되)	> <u>i</u>	洪	i e	州			
					•			•	•	•	•	•		•		支給開始 年 月 日	支給される	法令の名和 種類	記録簿	事故 英東	
															級	障害の等級	らこととなった	の名称及び給付又は補償の		4	
															日	年金額	た年月日	補償の		年度 年金	
															/ 率	調整				年金支払 決定番号	
															田	額	年 月				
																撤要	Ш				

	•	•	•	•	•			•	•	•	•		•	•			•	•		事故年度
	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	月四艺	
																			支期	
																			払間	
																				) 中 決 全 完
																		田	額	支箍 払界
																			権	
																			烟	氏 名
																				Пи
	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•		•	•		•	•	•	支年	
•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Я	
																		•	月月日	
																			月日男	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日期間支	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日期間支	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		払 支 払 友 払 額 横 月 日 期 間 支 払 額 横	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住

	X	茶	漸	N	NH.	+ /	j j	ř V	- (1	Ŋ	H	AM	辨	# 7	災益	伪			
												受給權者	田	礎年額	補償基	氏名			
10	c	9	8	7	1	6	Ŋ	4	ω	2	1	用	Ħ	 云	l	年			
												名			補償基礎額	阜 月			
•		•	•	•			•	•	•	•	•	生年月日	扶養親族	基礎額	礎額	日生			
												死と続右の柄				庄			
た・ 無		右·無	有·無	た・ 無		有・無	有・無	有·無	有·無	有·無	有·無	障害の 無							
•		•	•	•		•	•			•	•	年中年金田	田	田	田		遺族		
•		•	•	•		•	•	•	•	•		女然所以往往	養	した年月	事故が発生		補償		
*	F .	失	失 •	*	<del>-</del>	失	<del>火</del> •	· •	失 ·	失 ·	失•	資格の年	期 始 月 日	5月日	第生		年		(表
· 章	•	• 得	· ·	· 动	•	• 得	· ·	· •	· 。	· 拿	· 拿	の変動	•		•	月種	金 記		
				,,				,,				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	病	• —— 癒	水防	2 録	事故 年庚	
												# O		- EII	dhi	水防従事者	簿		
												海两				•			
	ž	Ŕ	墨	浴	冰	d e	н Э	آ ٦	<b>√</b> ∃	· 浒	9	含	#	第三	死 1	応急措置従事者		年	
•	•	•		• •					• •	• 1	大器などの	法令の名称及 び給付又は補 償の種類	故 種	者行為平	亡年月	住事者		年度   年会	
										十亚织	#   ₹	名称及類は補	別	事故有	Ш			年金支払 決定番号	
					$\setminus$					影掛	華年			•無 賠償	年				
					Ì					捐	現月			賠償額	""				
										銀円	西			田	Ш				

	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•				•				事 故 年 度
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	月 日 日	
											••								支期	併
																			払間	
																				) 注头 元
																			拉	金宝女
																		田	产	拉号
																			摘	
																			an,	
																			烟	开
																			거버	*
																			支年	
																			111 /41	
•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	ii 乙 月	
	•	•									•	•							Я	
																		•	月月日	
																	•	•	Я	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月月日	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日男	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日数贯	
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月日期間支	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		月 日 期 間 支 払	住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			住
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		払 支 払 友 払 額 横 月 日 期 間 支 払 額 横	住

付

則

第 災

害

項に

の際 規し

則応

で急

定 措 め置

るの

額務

定に め従

規し 則た

廃に 止 係 する

等

金 業

を

る 事

を 者

る 損

規

則 補

を償

公に

す

る 条

例 第 九 条  $\mathcal{O}$ 

布 関

す

る。

害

令 和 七 年 七 月

日

京 都 北 区 長

東

田

Щ

奈

加

子

東 京 都 北 区 規 則 第 五 十 八

号

災 害 に 際 L 応 急 措 置  $\mathcal{O}$ 業 務 等 に 従 事 し た 者 に 係 る 損 害 補 償 に 関 す る 条 例 第

害 条 に  $\mathcal{O}$ 際 L 第 応 \_ 急 項 措  $\mathcal{O}$ 置 規 則  $\bigcirc$ 業 で 務 定 等  $\Diamond$ に る 従 金 額 事 を L た 定 者  $\otimes$ に る 係 規 る 則 損 を 害 廃 補 止 償 す に る 関 規 す 則 る 条 例 第

は 廃 止 す る

則

号

第

項

 $\bigcirc$ 

規

則

で

定

 $\Diamond$ 

る

金

額 を

定

 $\Diamond$ 

る

規

則

平

成 +

九

年

 $\equiv$ 

月

東

京

都

北

区

規

則

第

+

 $\equiv$ 

九

条

 $\mathcal{O}$ 

九

災

ک  $\mathcal{O}$ 規 付 則 は 公 布  $\mathcal{O}$ 日 か 5 施 行 す る

- 1 -

令 和 七 年 七 月

日

京 都 北 区 長

東

田

Щ

加 奈

子

第 災 \_ 害 項に 第 際 三 L 応 号  $\bigcirc$ 急 規 措 定 置 にの 基 業 づ 務 き 等 障に 害 従 者 事 支 し 援 た 施 者 に 設 に 係 る 準 ず 損 る 害 施 補 設 償 をに 定 関 めす る る 規 条 則例 を第 廃 九 条 止 すの

る 規

則

を

公

布

す

る

東京都北区規則第五十九

号

条  $\mathcal{O}$ 災 害 第 に 際 \_ 項 L 第 応  $\equiv$ 急 号 措  $\mathcal{O}$ 置 規  $\mathcal{O}$ 定 業 に 務 等 基 づに 従 き 事 障 L 害 者 た 支 者 援に 施係 設 る に 損 準 害 補 ず 償 る 施に 関 設 す を 定 る め条 例 る 規 第 則 九

を廃止する規則

年 七 第 災 害 月 \_ に 東 項 第 際 京 都 三 L 応 北 号 区  $\mathcal{O}$ 急 規 規 措 定 則 置 第 に  $\mathcal{O}$ 三 基 業 + づ 務 号 き 等 障 に 害 従 は 者 事 支 廃 し 援 た 止 す 施 者 設 る に に 係 準 る ず 損 る 害 施 補 設 償 を に 定 関 す  $\Diamond$ る る 規 条 則 例 第 九 平 成 条

人の

この規則は、公布の日から施行する。

付

則

令和七年七月八日

東京

都

北

区

保

育料

等

徴収条例施

行

規

則

 $\bigcirc$ 

部を

改正す

る

規 則

を 公

布す

る。

東京都北区長 山 田 加 奈 子

東京都北区規則第六十

号

京 都 東 北 京 区 都 保 北 育 区 料 保 等 育 料 徴 等 収 条 徴 例 収 条 施 行 例 規 施 則 行 規 亚 則 成  $\mathcal{O}$ + 部 七 を 年 改  $\equiv$ 正 月 す 東 る 京 規 都 則 北 区

号)の一部を次のように改正する。

兀

東

第 六 条  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 第 項 中 第 兀 条 第 項 \_ を \_ 第 兀 条 \_ に

改

 $\Diamond$ 

る

規

則第

+

付則

 $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 規 則 は ` 令 和 七 年 九 月 日 カュ 5 施 行 す る

- 1 -

令 和 七 年 七 月 九 日

東 京 都 北 区 長

田 加

Щ

奈

子

東 京 都 北 す る。

区 会 計 事 務 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布

東京都北区規則第六十一

号

東 京 都 北 X 会 計 事 務 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

のように改正する。

東

京

都

北

区

会

計

事

務

規

則

 $\overline{\phantom{a}}$ 

昭

和三

+

九

年

 $\equiv$ 

月

東

京

都

北

区

規

則

第

号

 $\mathcal{O}$ 

部

を

次

寸川穹丘質と大つ一寺と同

付則第五項に次の一号を加える。

七

令 和 七 年 度 北 区 工 ネ ル ギ 食 料 品 等 価 格 高 騰 支 援 給 付

年 六 月 + 兀 日 七 北 福 地 第 五 千 百 六 + 号 第 六 条 第  $\equiv$ 項 第  $\equiv$ 号  $\mathcal{O}$ 規 定

給付金

基

づ

き

窓

 $\Box$ 

現

金

受

領

方

式

等

に

ょ

り

支

給

す

る

工

ネ

ルギ

•

食料

品

等

価

格

高

騰

支

援

に

金

事

務

実施

要

綱

令

和

七

付則

 $\overset{\succ}{\smile}$  $\mathcal{O}$ 規 則 は ` 公 布  $\mathcal{O}$ 日 カン 5 施 行 す る

令和七年七月九日

京 都 北 区 建 築 基 準 法 施 行 細 則  $\bigcirc$ 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

東

田加

東 京

都 北

区

長

Щ

奈

子

東京都北区規則第六十二号

東 京 都 東 北 京 区 都 建 北 築 区 基 建 準 築 法 基 施 準 行 法 細 施 則 行 細 昭 則 和  $\mathcal{O}$ 五. + 部 八 を 改 年 正 兀 す 月 東 る 京 規 都 則 北 区 規 則 第 十 号

 $\mathcal{O}$ 

一部を次のように改正する。

限

る

を

\_

 $\mathcal{O}$ 

う

ち

次

に

掲

げ

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

\_

に

改

 $\Diamond$ 

同

号

に

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

加

Ž

る

第 + 三 条 第 号 中 随 時 閉 鎖 又 は 作 動 で き る ŧ  $\mathcal{O}$ 防 火 ダ ン パ を 除 < に

1 随 時 閉 鎖 又 は 作 動 で き る ŧ  $\mathcal{O}$ 防 火 ダ ン パ を 除 <

表 第 + 口 兀  $\mathcal{O}$ 項 常 条 第 中 時 三 閉 \_ + 項 鎖 \_  $\mathcal{O}$ 又 月 表 は 三 作 十 動  $\mathcal{O}$ 日 項 L ま 中 た 状 で 0 + 態 月 12 た 三 だ あ 十 る L ŧ 床 日  $\mathcal{O}$ 面 各 積 を 階  $\mathcal{O}$ 合 꽢  $\mathcal{O}$ 計 年 主 が 要  $\mathcal{O}$ な 千 月 ŧ 平  $\equiv$  $\mathcal{O}$ 方 十 に 限 メ 日 る 1 12 ル を 改 超  $\Diamond$ 

方 꽢 メ 年 1  $\mathcal{O}$ ル 月 を 超 三 え + る ŧ 日 \_  $\mathcal{O}$ で に 三 改 階  $\Diamond$ 以 上 同  $\mathcal{O}$ 表  $\equiv$ 階 12  $\mathcal{O}$ あ 項 中 る ŧ 0  $\mathcal{O}$ に た だ 9 L 11 7 床 は 面 積 毎 年  $\mathcal{O}$ 兀 合 月 計 が 日 三 千 カン

平

を

6

+

月

三

え

る

t

 $\mathcal{O}$ 

で

 $\equiv$ 

階

以

上

 $\mathcal{O}$ 

階

に

あ

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

に

0

1

7

は

毎

年

兀

月

日

カン

5

+

月

三

十

日

同

改 +  $\Diamond$ 日 同 ま 表 で  $\sqsubseteq$ 六  $\mathcal{O}$ を 項 削 中 1) \_ 九 同 月 表  $\equiv$ 兀 +  $\mathcal{O}$ 日 項 中 を \_ + 꽿 年 月  $\equiv$  $\mathcal{O}$ + 月 日  $\equiv$ + を 日 캪 年 に  $\mathcal{O}$ 改 月 8  $\equiv$ 十 同

+  $\mathcal{O}$ 項 中 日 + を 꽿 月  $\equiv$ 年  $\mathcal{O}$ 十 日 \_ 月 三 を 十 \_ 꽢 年 日  $\mathcal{O}$ に 月 改  $\equiv$ 8 + る 日  $\sqsubseteq$ に 改 8 同 表 九  $\mathcal{O}$ 項 中

+

付則

月

三

表

七

日

に

令和七年七月二十八日

東京都北区長 山 田

加奈子

京都北 区 児 童育成手当 条 例 施 行規 則 の 一 部 を改正 する 規則を公布する。

東

東 京 都 北 区 規 則 第 六 +  $\equiv$ 

号

東 京 都 北 区 児 童 育 成 手 当 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

兀

号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

付 則

第

三

条

中

 $\neg$ 

三

百

六

+

万

兀

千

円

を

三

百

六

+

六

万

千

円

\_

に

改

 $\Diamond$ 

る

東

京

都

北

区

児

童

育

成

手

当

条

例

施

行

規

則

昭

和

兀

+

六

年

+

月

東

京

都

北

区

規

則

第

+

施 行 期 日

ک  $\mathcal{O}$ 規 則 は 公 布  $\mathcal{O}$ 日 カン 5 施 行 す

る

0

1

経 過 措 置

月

分

 $\mathcal{O}$ 

児

童

育

成

手

当

 $\mathcal{O}$ 

支

給

に

9

1

7

は

`

な

お

従

前

 $\mathcal{O}$ 

例

に

ょ

る

2 令 ک 和 七  $\mathcal{O}$ 年 規 六 則 に 月 ょ 以 る 後 改  $\mathcal{O}$ 月 正 分 後  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 東 児 童 京 育 都 北 成 手 区 当 児  $\mathcal{O}$ 童 育 支 給 成 手 に 当 0 1 条 7 例 適 施 行 用 L 規 則 第 同 三 年 条 五 月  $\mathcal{O}$ 以 規 前 定 は  $\mathcal{O}$ 

- 1 -

令 和 七 年

七 月 二 十 八 日

東 京

都

北 区

長

Щ

田

加

奈

子

京 都 北 区 立 保 育 所 条 例 施 行 規 則 O部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

東

東京都北区規則第六十四

号

京 都 東 北 京 区 都 立 北 保 区 育 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 所 保 条 育 例 所 施 条 行 例 規 施 則 行  $\overline{\phantom{a}}$ 規 平 則 成  $\mathcal{O}$ + 年 部  $\equiv$ を 月 改 東 正 京 す 都 る 北 規 区 則 規 則

第

+

号

 $\mathcal{O}$ 

 $\otimes$ 

る。

を次のように改正する。

部

東

第 五. 条 た だ L 書 中 第 兀 条 第 項 第 <u>-</u> 号 \_ を 第 兀 条 第 号 \_\_ に 改

付則

 $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 規 則 は ` 令 和 七 年 九 月 日 カュ 5 施 行 す る

令和七年七月二十八日

京 都 北 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例 施 行 規 則 の 一 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

東

東京都北区長 山 田 加 奈 子

東 京 都 北 区 規 則 第 六 + 五 号

東 京 都 北 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

東 京 都 北 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例 施 行 規 則  $\overline{\phantom{a}}$ 昭 和 兀 + 九 年 九 月 東 京 都 北 区 規 則

第 + 三 号  $\mathcal{O}$ <del>---</del> 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

第 五. 条 中 三 百 六 + 万 兀 千 円 \_ を 三 百 六 +六 万 千 円 に 改  $\Diamond$ る

付 則

ک  $\mathcal{O}$ 規 則 は

施

行

期

日

1

` 令 和 七 年 八 月 \_\_ 日 か 5 施 行 す る

0

2  $\overset{\sim}{\smile}$ 経  $\mathcal{O}$ 過 規 措 則 置 に ょ る 改 正 後  $\bigcirc$ 東 京 都 北 区 心 身 障 害 者 福 祉 手

し  $\mathcal{O}$ 規 令 定 和 は 七 年 令 七 和 月 七 年 以 前 八  $\mathcal{O}$ 月 月 以 分 後  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 心 月 分 身 障  $\mathcal{O}$ 害 心 者 身 福 障 祉 害 手 者 当 福 祉  $\bigcirc$ 支 手 給 当 に  $\mathcal{O}$ 支 9 給 1 に て は 0 1 な 7 お 適 用 従

前

 $\mathcal{O}$ 

例

に

ょ

る

- 1 -

当

条

例

施

行

規

則

第

五.

条

令和七年七月二十九日

東 京都北 区 介護 保 険 条 例 施 行 規 則 の 一 部 を 改正す る 規 則 を公布 する。

山 田 加 奈 子

東

京

都

北区長

東京都北区規則第六十六号

東

京

都

北

区

介

護

保

険

条

例

施

行

規

則

亚

成

+

年

三

月

東

京

都

北

区

規

則

第

+

六

号

に

改

 $\Diamond$ 

東 京 都 北 区 介 護 保 険 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 規 則

 $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

別 記 第 + 兀 号 様 式 及 U 第 五. + 兀 号 様 式 中  $\infty$ 0 K  $\mathbb{H}$ を  $\overline{\infty}$ 0 9 H 田

る。

付 則

施行期日)

1

 $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 規 則 は 令 和 七 年 八 月 日 カン 5 施 行 す る

(経過措置)

2 7 第 律 及 六  $\sum_{}$ U 第 介 + 第 百  $\mathcal{O}$ 護 五 規 保 + + 条 則  $\equiv$ 険  $\mathcal{O}$ 兀 に  $\equiv$ 号 ょ 負 号  $\overline{\phantom{a}}$ る 担 に 様 限 規 式 改 第 度 定 正 五.  $\mathcal{O}$ 額 す + 規 後  $\mathcal{O}$ る 定  $\mathcal{O}$ は 認 特 条 東 定 定  $\mathcal{O}$ 京 を 入 三 令 都 受 12 和 北 所 け 者 規 七 区 ょ 介 定 年 介 う 護 す 護 八 لح 予 る 月 保 す 防 特 険 <del>---</del> 定 る サ 日 条 者 入 以 例 12 ピ 後 所 施 に 者 行 ス 0 費 介 規 11 介 7  $\mathcal{O}$ 護 護 則 適 支 サ 保 別 用 給 記 険 す を ピ 法 第 る 受 ス け 費 亚 + 兀 る 及 成 に 九 号 75 際 同 年 様 法 法 式 L

え 則 ۲  $\mathcal{O}$ 規  $\mathcal{O}$ な お 定 規 使 に 則 用 ょ  $\mathcal{O}$ す n 施 る 調 行 ۲ 製  $\mathcal{O}$ と 際 L が た  $\sum_{i}$ で 用 き 紙  $\mathcal{O}$ る で 規 現 則 12 に 残 ょ 存 る す 改 る 正 t 前  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 東 に 京 0 都 1 北 7 は 区 介 護 所 要 保  $\mathcal{O}$ 険 条 修 例 正

を

加

施

行

規

3

令和七年七月三十一日

東京都北区長山

田加

奈子

東 京 都 北 X 高 齢 者 障 害 者 等  $\bigcirc$ 移 動 等  $\bigcirc$ 円 滑 化  $\mathcal{O}$ 促 進 に 関 す る 法 律 施 行 細 則  $\mathcal{O}$ 

部 を

改

正

す

る

規

則

を

公

布

す

る。

東京都北区規則第六十七号

東 京 都 北 X 高 齢 者 障 害 者 等  $\mathcal{O}$ 移 動 築  $\mathcal{O}$ 円 滑 化  $\mathcal{O}$ 促 進 12 関 す る 法 律 施 行 細 則

の一部を改正する規則

成 + 東 五. 京 年 都 三 北 月 区 東 高 京 齢 都 者 北 区 障 規 害 則 者 第 等  $\mathcal{O}$ + 移 兀 動 뭉 等  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 円 滑 \_\_ 化 部 を  $\mathcal{O}$ 次 促 進  $\mathcal{O}$ に ょ う 関 に す 改 る 正 法 す 律 る 施 行 細 則 平

項 中 第 条 第 第 + 八 項 条 中 第  $\neg$ 第 項 \_ + を 八 条 第 第 三 \_\_ + 項 \_ 条 を 第  $\neg$ 第 三 項 \_ + に 改 条 第  $\Diamond$ <del>---</del> る 項 \_ に 改  $\Diamond$ 同 条 第

項 を < 下 0 中 第 特 計 以 計 定 条 下 画 建  $\mathcal{O}$ 画  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 築 特 変 物 定 更 第 認 定  $\mathcal{O}$ 建 認 <del>---</del> \_ 計 築 定 項 \_ を 画 物 中  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を 特 認 計 \_ \_ 定 定 法 計 画 建 又  $\mathcal{O}$ 第 画 は 築 変  $\mathcal{O}$ 物 特 更 十 認 定 認 定  $\mathcal{O}$ \_ 計 建 定 条 築  $\sqsubseteq$  $\mathcal{O}$ 画 を 物 に  $\mathcal{O}$  $\neg$ 認  $\mathcal{O}$ 第 \_ 特 定 計 五.  $\neg$ \_ 計 項 定 画 建 に  $\mathcal{O}$ 画  $\mathcal{O}$ 変 規 築  $\mathcal{O}$ 更 認 定 物 計 認 12 定  $\mathcal{O}$ 定 又 計 画 ょ \_  $\mathcal{O}$ は ŋ 画 計 準 変 に  $\mathcal{O}$ 更 改 画 用 認 8 認  $\mathcal{O}$ す 定 \_ 定 変 る 同 更 場 に 条 認 合 を 第 定 を 特 除 以

+  $\mathcal{O}$ 認 第 定 条 兀  $\mathcal{O}$ 条 以 第 下 第 \_\_ 五. 項 \_ 中 協 項 定  $\mathcal{O}$ \_ 建 規 計 築 定 画 に 物  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ょ 変 計 n 更 認 画 準  $\mathcal{O}$ 用 定 す 変 更 る を 法 認 \_ 定 第 特 + 定 建 八 と 1 条 築 う 第 物  $\mathcal{O}$  $\overline{\phantom{a}}$ 項 計 \_  $\mathcal{O}$ 画 に 規  $\mathcal{O}$ 改 定 変 8 に 更 認 る ょ る 定 計 又 画 は 法  $\mathcal{O}$ 変 第 更

定

建

築

物

 $\mathcal{O}$ 

計

画

 $\mathcal{O}$ 

変

更

認

定

\_

に

改

 $\Diamond$ 

る

認 定 第 五 が 条 第 を 項 特 中 定 建  $\neg$ 計 築 画 物  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 認 計 定 画  $\mathcal{O}$ を 変 更 特 認 定 定 建 が 築 物 に  $\mathcal{O}$ 改 計  $\Diamond$ 画  $\mathcal{O}$ 認 認 定 定 特 に 定 建 築 計 物 画  $\mathcal{O}$ と 変

1

更

び 定 定 う 11 あ 建 を う 0 受 新 築 た  $\sqsubseteq$ た لح け 物 に た き  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 下 認 者 は を 計 定 12 画 そ 建 以  $\mathcal{O}$ — 築 下 認  $\mathcal{O}$ 認 又 主 定 変 定 は  $\sqsubseteq$ 等 建 更 法 認 \_ 定 後 第 築 لح  $\mathcal{O}$ 協 主  $\mathcal{O}$ 11 下 定 筡 う + ŧ に 建  $\mathcal{O}$ لح 条 築  $\neg$ 又 主 に を  $\mathcal{O}$ 11 は 等 う 係 受 \_ 0 る け 第 認 لح 定 た 兀 協 項 協 定 計 11 定 う  $\mathcal{O}$ 建 画  $\mathcal{O}$ 建 下 規 築 に 築 物 協 定 主 に 定  $\neg$ ょ 等 を 又 以 建 \_ は 下 築 る 協 計 を 物 \_  $\neg$ 加 定 認  $\mathcal{O}$ 画 え 認 建 定 計  $\mathcal{O}$ 定 築 協 認 画 同 建 物 定  $\mathcal{O}$ 定 条 築  $\mathcal{O}$ 建 変  $\overline{\phantom{a}}$ 第 更 主 計 築 以 等 認 下 画 物 \_ 項  $\mathcal{O}$ 定 中 及 認 と が 協

等 認 特 は 中 第 は 画 第 六 定 協 定 に 若  $\mathcal{O}$ 七 建 L 又 定 認 認 又 条 条 は 建 築 < 定  $\mathcal{O}$ 定 第 は 計 築 若 物 認 は 特 見 \_ 維 定 持 出 画 物 L 項 又 定 維 < 中 持  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は 特 建 保 L 変 計 は 認 定 保 築 全 中  $\neg$ 更 画 協 計 定 建 全 物  $\mathcal{O}$ \_  $\sqsubseteq$ 認 定 協 築  $\mathcal{O}$ 状 認  $\mathcal{O}$ 画 定 変 建 定 物 状 況 定  $\mathcal{O}$ を を 更 築 認 建 況 に 特  $\mathcal{O}$ 申 認 物 定 築 建 に 又 0 定 定 又 物 築 は 請  $\mathcal{O}$ 0 1) 建 等 法 を 計 は  $\mathcal{O}$ 11 7 築 L た 申 計 第 \_ 建 又 7 物 画 請 築 は  $\mathcal{O}$ 五.  $\mathcal{O}$ 画 を 等 十 を L 認 維 報  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ た 告 三 若 変 又 持 定 下 \_ 申 又 更 12 は 保 は 条 L 全 請 に は 認 維 第 < を 改 特 持 認 五. は 又 定  $\mathcal{O}$ 8 保 状 L 定 を 定 項 維 は た 建 申 全 況 特 持 認  $\mathcal{O}$ \_ に に 定 規 保 同 築 請 定 関 関 建 全 協 に 条 物 L 定 改 た す す に 定 第  $\mathcal{O}$ 築  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 計 る ょ 状 建 8 る 物 る 項 画 を 報 報 又 る 況 築 告 告 中  $\mathcal{O}$ は 協 に 物 変 特 書 書 認 定 0 \_ \_ 同 更 定 定 建 1 を 認 建 に を 協 項 築 7 加 改 定 物 え  $\mathcal{O}$ 定 築 計 若 物  $\Diamond$ 建  $\mathcal{O}$ に 画  $\mathcal{O}$ る 認 築 建 L 同

<

計

定

物

築

条

 $\neg$ 

認

定

建

築

主

等

 $\mathcal{O}$ 

下

に

 $\neg$ 

又

は

認

定

協

定

建

築

主

等

\_

を

加

え

る

 $\mathcal{O}$ 

第

八

条

 $\mathcal{O}$ 

見

出

L

中

認

定

特

定

建

築

物

 $\mathcal{O}$ 

下

に

 $\neg$ 

又

は

認

定

協

定

建

築

物

 $\sqsubseteq$ 

を

加

え

同

改 変 計 物 条 更 第  $\Diamond$ 画 認  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 定 変 下 項  $\neg$ \_ 認 更 中 に 定 を 認  $\neg$ 建 定 又 認 \_ 築 特 又 は 定 建 主 定 は 認 等 建 協 築 定  $\sqsubseteq$ 主 築 定 協  $\mathcal{O}$ 物 建 定 等 \_ 下  $\mathcal{O}$ 築 建 に 計 物 築  $\mathcal{O}$ 下 画  $\mathcal{O}$ 物  $\neg$ 又  $\mathcal{O}$ 計 に は 変 画 を 認 更  $\mathcal{O}$ 加 又 定 認 変 え は 定 更 認 協 定 又 認 定 協 建 は 定 計 \_ 協 定 築 画 主 定 に 建  $\mathcal{O}$ 等 建 改 変 築 \_ 築 更  $\Diamond$ 主 を 物 認 等 \_ 定 加  $\mathcal{O}$ 同 え 計 条 を 第 を る 画  $\mathcal{O}$ 変 項 認 特 更 中 定 定 認 建 特  $\neg$ 定 計 築 定 画 物 建 築 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

に 别 改 記 8 第 る 号 様 式 中 徭 2  $\infty$ 夈 徭  $\vdash$ 屈  $\Box$ を 徭  $\omega$ 2 叅 徭  $\vdash$ 屈 12  $\neg$ W Cot \_ を  $\Box$ 0

別 記 第 号 改 様 式 0 中  $\neg$ 徭  $\sim$  $\infty$ 夈 舥  $\mathcal{O}$ 屈 を 徭  $\omega$  $\sim$ 夈 徭  $\mathcal{O}$ 屈 に  $\mathbb{W}$ G を

业

Cot

-

に

 $\Diamond$ 

る

田 別 of 記 第 兀 号 様 式 中 徭  $\infty$ 夈 舥  $\aleph$ 屈  $\mathcal{O}$ 次 に 皿 法 舥 2 2 柔 9  $\mathcal{O}$ 徭  $\Omega$ ~ 屈 条 FT 舥 24  $\omega$ 屈 4

 $\mathcal{N}_{9}$ 並 49  $\square$ G 0 を 加 え 回 浙 徭 17 夈 徭 ယ 屈 \_ を 픠 搲 舥 徭  $\sim$  $\sim$ 夈 9 2 徭 4 屈

に

改

 $\Diamond$ 

る

别 記 第 六 号 様 式 中 認 定 夲 定 典 绺 杨 を と 認 定 定 챢 葰 定 定 輿 剰 翐 襁 梭 極 12

9 苯 兇 (1 黓 4  $\mathcal{N}$ を (1) 黓 4  $\mathcal{N}$ に

業

1 移 舥  $\sum_{}$  $\sum_{i}$  $^{\circ}$ 動 経 施 ယ 等  $\mathcal{O}$ 過 行  $\mathcal{O}$ 付 茱 規 措 規 期 徭  $\mathcal{O}$ 円 則 置 則 日 則 4 滑  $\mathcal{O}$ は 屈 化 施 行 公 を  $\mathcal{O}$ 布 促  $\mathcal{O}$ 進  $\mathcal{O}$ 徭 際 57 に 日 ယ  $\sum_{i}$ 籴 関 か す 5 徭  $\mathcal{O}$ る 規 施  $\Omega$ 4 屈 其 法 則 行 す 律 に ょ る に 施 る 改 行 め 細 改 る

2 す U 第 る ک 六 と 号 様 が 式 で き に ょ る る 用 紙 で 現 に 残 存 す る ŧ 則 正 別  $\mathcal{O}$ 前 は 記  $\mathcal{O}$ 第 東 \_ 京 所 要 号 都  $\mathcal{O}$ 様 北 修 式 区 正 高 を 第 齢 加 者 <del>---</del> え 号 様 障

式

 $\mathcal{O}$ 

及

害者

等

 $\mathcal{O}$ 

な

お

使

用

を 改 東 正 京 す 都 る 北 規 区 則 公 を 共 公  $\mathcal{O}$ 布 場 す 所 にお る。 け る 客 引 き 行 為 等  $\mathcal{O}$ 防 止に 関 す る 条 例 施 行 規

> 則 の

> 部

令

和

七

年

七

月 三 十

日

東京都北区長 山 田 加 奈 子

東京都北区規則第六十八

号

東 京 都 北 X 公 共  $\bigcirc$ 場 所 に お け る 客 引 き 行 為 等  $\mathcal{O}$ 防 止 に 関 す る 条 例 施 行 規 則  $\mathcal{O}$ 

一部を改正する規則

兀 年 東 六 京 都 月 東 北 京 区 都 公 北 共 区  $\mathcal{O}$ 規 場 則 所 第 に 五. お + け 八 る 号 客 引 き  $\mathcal{O}$ 行 為 部 を 等 次  $\mathcal{O}$ 防  $\mathcal{O}$ ょ 止 う に 関 に す 改 正 る す 条 例 る 施 行 規 則 令 和

第九条の次に次の一条を加える。

(報告の求め)

第 九 条  $\mathcal{O}$ 条 例 第 +  $\equiv$ 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ り 報 告 を さ せ る لح き は 当 該 報 告 を さ

記 第 八 号 様 式  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 様 式 を 加 え る

别

せ

る

者

に

対

L

報

告

 $\mathcal{O}$ 

求

 $\Diamond$ 

別

記

第

八

号

様

式

 $\mathcal{O}$ 

を

交

付

す

る

ŧ

の と

す

る

北 第 号年 月 日

## 報告の求め

様

住 所(法人にあっては、所在地) 氏 名(法人にあっては、名称)

東京都北区長

あなたは、東京都北区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例(以下「条例」という。)の規定に反し、下記1の行為を行ったため、条例第13条第1項の規定に基づき、下記2の事項について、下記3のとおり報告を求めます。

なお、この求めに対し、必要な報告をしなかった場合又は虚偽の報告をした場合には、 条例第19条第2号の規定に基づく過料の対象となります。

記

1 違反行為

違反日時:

違反場所:

違反行為の内容:

- □ 条例第7条第1項(客引き行為等をした)
- □ 条例第7条第2項(客引き行為等をさせた)
- □ 条例第8条第1項(客引き行為等を用いた営業をした)
- 2 報告事項(□にレ点のある項目について報告すること)
  - □ 違反者の氏名、住所、生年月日、職業及び電話番号
  - □ 違反行為を委任又は命令した者の氏名、住所、生年月日、職業及び電話番号(法 人にあっては、その名称、所在地、代表者の氏名及び電話番号)
  - □ 客引き行為等を用いた営業をした店舗の代表者の氏名、住所及び電話番号
- 3 報告方法及び報告期限
  - (1) 報告事項を書面に取りまとめた上、記載事項を裏付ける資料(公的な身分証、商業登記簿等の写し)を添付して、東京都北区危機管理室生活安全担当課に提出すること。
  - (2) 報告期限は、 年 月 日()までとする。

なお、直接提出する際は、土日祝日を除く開庁時間内(午前8時30分から午後5時15分まで)に提出すること。

また、郵送する場合は、期限内に届くよう努めること。

【郵送先】〒114-8508 東京都北区王子本町 1-15-22 危機管理室生活安全担当課